

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	はい。規制庁藤原です。時間になりましたのでヒアリングを始めます。泊発電所3号炉の耐津波設計方針についてのうち、燃料等輸送線の漂流物影響に係る指摘事項回答、事業者の方から説明してください。
0:00:17	北海道電力の金田でございます。
0:00:19	燃料等輸送線の漂流物影響に係る指摘事項回答ということでご説明させていただきます。説明の方は担当の白戸高木の方から、合計で20分以内ぐらいで説明させてもらおうと思います。
0:00:31	それでは推察します。
0:00:35	北海道電力の志田です。スライドに2ページ目の本日の説明事項お願いいたします。
0:00:43	2ポツ目ですけれども、先日の
0:00:46	12月7日に、実施者審査会合におきまして、不確かさを考慮した場合にですね、十分な余裕時間が確保できないということから、
0:00:56	緊急退避を要しない漂流物化防止対策を公訴治療方針に見直しますということをご説明させていただきました。今回の資料におきましては、その審査会合の、
0:01:07	主席会等のうちの一部で、漂流物防止対策の選定結果、
0:01:14	防止対策装置の概要、あとは、設計方針と評価方針についてご説明させていただこうというふうに考えてございます。
0:01:24	成立性に関しては、次回の
0:01:27	2月エンドウ予定の会合でイシコ示しさせていただきます。
0:01:32	3スライド目をお願いいたします。
0:01:35	3スライド目が、8月にいただいた審査会合のコメントとそれ、今回の回答になっております。
0:01:44	2ポツ目のところですが、漂流防止対策の選定につきましては、8月にご説明させていただいたフローを見直して再度評価を行いまして、
0:01:55	採用する対策について再評価を実施しております。評価の結果、溪流③番、海域から輸送線を係留する方策等を対策の第1候補として、
0:02:06	検討を進めることといたしました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:09	発電所の専用コウノ海域から輸送線を係留することによって輸送線が荷揚げ場への売上更新されたりですとか、表裏を防止することが可能となるため緊急退避ができない場合を考慮しても、
0:02:22	有効な対策と考えております。
0:02:25	次4スライド目お願いいたします。
0:02:29	対策の選定にの前にですねまずその泊の特徴について改めて整理しようということになりまして流況の方の回数考察を行いました。
0:02:40	こちらに掲載している。
0:02:43	波源につきましては代表例一つを持ってきておりまして、ホームページで説明させていただきたいのはですね、岸壁を乗り越えるような水ここでいうと、紫色の点線、
0:02:55	が生じたときにはですね、直感的に直行な方向の流れが生じるというところを、
0:03:04	ここでご説明させていただきたいなと思っておりました。あとは、
0:03:10	防波堤ですとか、防潮庭ですとか、そういったものが障壁になって、案内を反時計回りですとか、時計回りの方に流行が回るところが泊の特徴であって、
0:03:23	先行プラントも同じような傾向であるというところを、下、確認しております。
0:03:28	次5スライド目をお願いいたします。
0:03:31	スライド目が8月3日の審査会合資料を修正したものになっておりまして、今説明させていただきました泊の特徴を踏まえて、
0:03:42	泊の特徴としては、乗上げる可能性のある水。
0:03:47	保有する津波の到達時間が早く輸送性の退避が困難であるということが特徴であると。
0:03:53	そこが先行プラントとの相違点であるというところを記載しております。
0:03:57	その蒸気の流況を踏まえまして、緊急退避外の漂流物化防止対策の検討を行いました。以前赤字文字になっているところは緊急退避というところになっていたんですけども今回は、それ以外のものを検討するというところになっております。
0:04:12	次6スライド目お願いいたします。
0:04:15	こちら前回会合からの資料の修正になっておりまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:19	溪流さんの対策案の内容を修正させていただいたのと、フローにおいて対比作業の不確かさという項目を入れて再度評価するようにしてございます。
0:04:30	次7ページ目に評価フローを掲載してございます。
0:04:35	こちら修正したフローになっておりまして、これで再評価をした結果、溪流③海側から、経理をすることを、
0:04:44	第1候補として選定するようなフローの結果になってございます。
0:04:50	発来ためには、各評価の詳細な記載が、
0:04:55	書かれておりますここは飛ばします。次9ページ目お願いいたします。
0:05:00	選定結果の、
0:05:02	まとめになっております。見直しを行ったフローの評価結果において係留③を第1項として検討することとさせていただきました。
0:05:12	最後4ポツ目ですけれども、海域からの経由の概要及び設計方針を自己から説明させていただきます。
0:05:20	10スライド目お願いいたします。
0:05:22	こちら溪流③の概要と規制基準上の位置付けをまとめたスライドになっております。
0:05:30	2ポツ目のところですね、押し波における流走線の荷揚げ場の乗り上げ防止、及び漂流防止と引き波時における、輸送性の港湾内での漂流防止を達成するためにですね、
0:05:42	泊発電所専用港から海域から経理を行います。以降この経理を沖出し溪流と呼ぶようにいたします。
0:05:50	抜き出し経理の実施に当たり、港湾内にシンカーを4ヶ所設置いたしまして、
0:05:56	センターにセンター移動槓ロープ及び沖出し係留策を取りつけることを考えております。こちらのロープについては高強度繊維炉を使用することを検討しております。
0:06:09	新川藤沖出し係留索を接続することで置き出し経理を達成させて、
0:06:14	輸送線が、漂流物化防止を行って取水口の到達は、津波防護施設浸水防止設備に影響及ぼさない設計とすることを、
0:06:24	考えております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:25	また沖出し係留の設置時に、津波警報が発令した場合にも作業員が安全に退避できることとこのところを確認することにしております。こちらの対応については次回の
0:06:36	資料でお勧めする予定になっております。
0:06:39	赤枠のところですがけれども係留アオキ出し形での規制基準上の位置付けです。
0:06:46	沖橋経理につきましては、シンカーロープ、Vについて漂流防止装置と位置付けて設計することを考えてございます。
0:06:54	次のスライドに、各構成部材の詳細が記載されております 11 ページを確認をお願いいたします。
0:07:03	こちらで係留箇所ですとか、各部位のどこが何に当たるかというところを構成部材を図でまとめてお示ししている状態になっております。
0:07:14	係留箇所につきましては現状の 1 からあまり変わらない所状況でして、
0:07:20	追加して岸壁からの意見に加えて沖出し溪流が設置されていると、海底面には審議会が設置されているといった状況になっております。図ニイツ 3 でお示ししている通りですね、赤いロープ、A 同牧六方センターに巻きつけて、
0:07:36	そこから、置き出し係留索、オレンジ色のロープですね、
0:07:40	延ばすと、海上に設置した V と V コウノ。
0:07:45	新仮設ロクロク緑色ロープですねそれをつなぐことで置きだし経理を達成させるというような構造になってございます。
0:07:53	次 12 スライドお願いいたします。
0:07:56	沖出し切る取り付け状態においてこういった挙動を示すかというところを簡単に記載したページになっております。
0:08:03	左の図は押し波が来たときですがけれども、押し波が来た際にはですね水位上昇とともに岸壁側に、水の流れ来るとお思いますので、その場合は岸壁から遠い方の括弧 A というふうに書かれた新開から伸びている沖出し係留策が、
0:08:19	センターにひっついてる遠巻きロープを採用いたしまして漂流物化防止の利上げを防止するような構造となっております、引き波時においてはその逆方向になっておりますので、括弧 B というふうに書かれた荷揚岸壁側の進化に接続されたロープ類で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:34	漂流防止を図るといった構造になっているこれが沖出し係留の概要となっております。
0:08:40	次のスライドから、漂流防止措置の要求事項の設計方針等をご説明させていただきます説明者タカキに変わります。
0:08:50	はい。北海道電力高城です。引き続きましてですね、漂流防止装置に対する設計方針、ご説明させていただきます。
0:08:58	基準津波及び耐津波設計方針に関わる審査ガイドに基づきましてですね、この漂流防止に対する要求機能をですね、津波の状態に対しても、経理を維持できることというふうに理解しまして、
0:09:11	要求機能として三つ整理してございます。まず一つ目がですね、津波によって水位の上昇が生じますので、そのセキ水位上昇に対しても、経理を維持できること。
0:09:21	二つ目、津波として、流れがございますのでその流れによる波力に対して、経理を維持できること。
0:09:28	三つ目ですね、
0:09:31	地震と重畳する形で、地震と地震によって津波発生しますので、地震の影響を考慮しても、経営状態維持できること、この三つを要求機能として整理してございます。
0:09:42	詳細は次のページからご説明させていただきます。14 ページをお願いいたします。
0:09:49	14 ページがまず一つ目の要求機能である、水位変動を考慮しても経理を維持できることについてご説明させていただきます。
0:09:57	設計方針としましては、基準津波で水位上昇しますので、それに伴う水位の浮き上がりに対して、沖出し溪流が追従できるように設計したいと考えてございます。
0:10:07	具体的に言いますと、評価項目としましては、この係留索の長さがございますね、再、基準津波の最大水位の時でも、全体を經由できるような長さを有することを、評価項目としたいと考えてございます。
0:10:22	評価方針につきましては同じようなことですが、最大水位、
0:10:28	基準津波として選定された 22 波源 20 件数の最大水位を評価と用いまして、係留ロープの長さを評価したいと考えてございます。
0:10:37	続きまして 15 ページになります。
0:10:41	こちらが、基準津波の波力に対して係留を維持できることという要求に対しまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:47	性能目標としましては、シモノ式で算出される基準津波の、
0:10:52	ルータ流圧力に対して、作用する係留索に作用する荷重に対して十分強度を有するというふうに考えてございます。
0:11:01	新海につきましては、この係留索から主荷重が入ってきますので、その荷重に対して、新川が活動しないことを評価したいと考えてございます。
0:11:10	続きまして16ページ、説明させていただきます。
0:11:13	続きまして、地震の影響を考慮しても係留状態を維持できることということで、今回ですね
0:11:21	通常の係留状態におきまして、係留策は一定程度、緩みを持ってございますので、この状態で地震を考慮してもですね、センターに対して荷重が作用しませんので、評価対象としましては、
0:11:33	新川だけというふうに考えてございます。
0:11:35	ですので、新海に対して、地震荷重に対して損傷しないことを評価対象として考えてございます。
0:11:43	はい。続きまして17ページ目。
0:11:45	最後にですね、今後の説明内容としまして、
0:11:49	今回、
0:11:51	漂流防止措置の成立性の方針、設計補助についてご説明させていただきますけれども、今後の審査会合におきまして、この漂流防止の成立性、具体的には、先ほどご説明した三つの
0:12:03	要求機能を満足することを説明するとともにですね、最後ですね、四つ目のポツになりますけれども、漂流防止装置を用いた運用において、津波警報発令時に作業員が退避可能であることについて、ご説明したいというふうに考えてございます。
0:12:17	説明は以上になります。
0:12:20	はい。規制庁藤尾です。今回の資料というのが方針ということで結構細かい方針も書いていただいて、それで、
0:12:30	この方針の後に予定している会合においては、結果、荷重とかは具体的に示されるというふうなお話であってただ今回の資料に関して結構中身、
0:12:41	我々としていろいろと気になるところもあるので結構細かいところを確認していきたいと思います。はい、では質疑に入りたいと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:55	すみません。規制庁のタダウチですけれども、いろいろちょっと考えてはきているんですが、
0:13:03	ちょっとここら辺のナカについてもちょっと、今回内野審査官の方からいろいろとコメントじゃないかと思うんですけど、ちょっと私の方から少し一つだけちょっとお聞きさせていただきますと、
0:13:18	兵
0:13:20	1、一番ちょっと図でわかりやすいのは本当3、参考資料の、
0:13:27	方で、
0:13:30	24 ページか。
0:13:33	津波による流圧式の流圧力の算出式とか言って
0:13:39	これ出しているんですけども、
0:13:42	通常のだからいわゆる抵抗係数だかなんかをかけて算出するって一般的な式で出してるかと思うんですそれ、
0:13:52	をやるにあたってそもそもの条件というか考え方をとるのに、先ほど説明されていた15 ページのところ、
0:14:05	評価法方針のところの評価方法ということで基準津波による流圧力は先行プラントと同様に石油会社国際海事評議会、
0:14:15	うちも沸点ですかね、算出方法を用いて算出するっていうんですけども、
0:14:21	今回の泊の要は、
0:14:26	他プラントと大分状況が違うような条件の中でそもそもこれって適用できるんですか。
0:14:34	その意図するところは本来、先ほど言った24 ページなんかは、一定の流速ノモトの中である程度のその硬度計設定の設定姿勢に対する抵抗というのを、
0:14:48	を示してっていうことだと思うんですけど、本来津波が来る時に、この行って、
0:14:54	停留の考え方が適用できるような話になってるのか、そもそもその津波波力の観点っていうことからすると、
0:15:02	この条件がはまるのかどうかってちょっと甚だ疑問なんですけれども、そういったところで、どういうふうにかんがえたらいいのかっていうところを説明いただけますか。
0:15:15	北海道電力の金田でございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:17	まず船係留されている状態というのは、護岸に平行に止まっている状態からスタートします。
0:15:24	津波が来ますと、確かにおっしゃる通り津波入居時計回りに来たりであるとか、徐々にコウ方向を変えていくんですけども、時刻時刻ですとこう方向が変わっていくんですけど、
0:15:35	それぞれのその時刻ですべて、どれぐらいの流速が、船首方向洗足方向にあるかってことを見ていきまして、その中で最大になる、
0:15:45	流速があるところについて、その状態であっても、かかる力に対して、係留策が機能するというを確認しようというふうに今考えております。
0:15:54	もう一つは、あと5番にあるあたってるうちは他社と同じような形で、繋がってると思うんですけども、護岸から今気水1005メートルぐらいで、水位が大体藤宮川のところが、
0:16:09	いう3メートルありますので、7メートル8メートルぐらいの津波になると、今度上側に上がって行って、常に値から直接経費先にかかってくるという状態になるんですけど、
0:16:19	4ヶ所の方から、4ヶ所で固定してますので船が大きくコウ。
0:16:23	傾くってわけじゃなく日本でこうずっとされたりだとか、前後で押されたりってことで、そう大きくは動かないだろうというふうに考えております。従いまして、流速として、
0:16:34	分解して、船首方向で最大のところ、尖足をこれ最大のところ、本来その時系列で見っていきますと、尖足側で最大のときっていうのは船主側の方では必ずしも最大にはならないんですけども、
0:16:46	それぞれ最大になるところの力がかったときに、合成してみても、一番力がかかるであろうところでも、
0:16:54	機能するということを確認しようというふうに考えています。
0:17:02	うん。あった。
0:17:04	ちょっと先ほど言ったのが、ある程度ね流速が一定のもとでの抗力の出し方、抵抗、何か抗力とかね働く採用する力を出しているっていう。
0:17:15	感じだと思って向きが変わってもってそれはおっしゃる通りだと思うんですけど、その急に流れがですねこう変わっていくような状況ですよ。高い波が押し寄せてくるわけですよ。どういうふうに。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:29	波が押し寄せてくるのかっていうのは詳細まだ今後だと思うんですけども、そういったときに、じゃあ、こういった係留索にかかる力っていうのが、言っているところでかかっている力と、加速的にかかる力では、
0:17:44	違うんじゃないんですか。
0:17:46	うん。
0:17:51	落差があるかどうかちょっとわからないんですけど、水面が傾斜してそれにもっと押し流されていくみたいなんだっていう状況にあるか実はわからないんですけども、
0:18:12	まず係留してる船の方に来る津波というのは、ダンバではないんですよ。全体が盛り上がってきて流れてくるっていう津波になりますので、
0:18:22	お1人の個人の考え方を説明されたって困るんで、
0:18:27	必ずアオキないっていう。
0:18:29	ことを、
0:18:30	実験なり何なりで示さないといけませんよそこまで。
0:18:34	断定するんであれば、
0:18:35	すべて根拠あります科学的な根拠は合理性のあるね。
0:18:42	さっきから話を聞いて考えてるとまた根井文章でも結構よくイセし多くて、指摘をしているんだけど、
0:18:50	想像でこういう考えているからっていうのは理由にならなくて、
0:18:55	それは科学的合理性のある説明を求めているんで、
0:19:00	想像の範囲でこんなもんだという話は要らないです。
0:19:04	何度も言ってますけど、
0:19:07	基本的に言うと膨張てのすぐそばでしょ。
0:19:10	であるから基本的にその荷重がかかってもおかしくない。
0:19:15	でなければ、ほぼこの粘土輸送線が防潮てに、
0:19:20	ぶつかって脅威になるなんてことは考えなくていいわけですよね。
0:19:23	そもそも、
0:19:24	違いますか。
0:19:28	防潮ては泊まってはるな津波が流れてきた時にそこで止めますよね。燃料センター大きな津波の流れの中に燃料線があって、基本的実験あってもね、すべてそうなんだけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:41	その部分に1コモリ上がって行って、そのダテ崩れて巻き込まれる場合もあります。
0:19:46	それで、それで総務。
0:19:49	対象物にぶつかる場合もあれば、最後どのように押されて、流れていく場合もあります。それと、こういうような顔のような定常の部分で流れている。
0:19:58	程度で流れているような状態とは全然違うと思うんですよね。
0:20:03	で、
0:20:04	他電力がやっているのは基本的には、
0:20:07	緊急退避が基本であって、
0:20:12	万が一っていう話あるんだけど万が一がほとんど基本的には、
0:20:17	岸壁人遡上するような津波じゃないんですよね。
0:20:22	そもそもは、津波の波高が低くて、
0:20:24	流速が早くて、それだけ前面海域での断層がずれずれて起きるような波源としているから、それは、
0:20:32	到達時間が非常に早いんだけど、基本的に津波としては、
0:20:36	まだ小さい。
0:20:38	大物はみんな秋田県を機能を、例えば、
0:20:43	んでは下があるわけなんで、
0:20:47	日本カトウ藪ですか、そこからはるばる遠くへやってくる40分もかけてですね。
0:20:52	そういう状態なところが多いわけですね。
0:20:56	若狭海丘列だってそれ結構それなりに時間かかりますから来る、来るのもね。
0:21:00	関西電力に関して言ったって、そういうことから考えたときに、
0:21:04	ここでは、急激に、
0:21:09	本会議で、波源として、
0:21:11	津波が来るわけですね。それで、14隣つくとCHASTEしてしまうということで、
0:21:18	緊急退避は非常に、
0:21:22	余裕がない状態になっているので、経理を原則とするのは初めてなんですよね。
0:21:28	ここが、そうすると、基本的には、
0:21:31	確実に係留されなければいけないと我々は考えてます。そういったときに、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:36	他電力と同じような考えでいいんですかって。
0:21:39	もう全然ね、数サイトの状況が違うし、緊迫感とかで、そのリスクの大きさも全然違いますよね。
0:21:46	その辺ちょっとねもう一度、
0:21:50	できる限りのことは考えて、
0:21:53	検討していただかないと、こういうことは受けませんなんてことはありえないですよ。
0:21:57	この段階で、
0:21:59	自分たちのできる範囲で話を、
0:22:02	結果を落とし落とし込もうということしか聞こえないので、そういう説明をやめていただきたいと思います。よろしいですか。
0:22:10	海田の金田でございます。ちょっと今まだご指摘されたことが理解できてないような気がしますけれども、まずその来る津波当然
0:22:20	日本海島縁部で、コウ断層がぐっと盛り上がって、そこからコウ津波が押し寄せてきて、確かに近いので、14分で来るというのは、実態としてそういう、基本的にね。
0:22:30	津波の高さが高くて、基本的には、ソリトン分裂じゃなくたって、3倍だ、
0:22:37	スイセ浸水係数3倍の
0:22:40	もう、軽く掛かるわけですよ。悠空はある程度、
0:22:44	一つの
0:22:47	がかかったときに、基本的には今どういう状況にあるかっていうと、
0:22:52	F E M A、またはL S - D Y N Aのような状態で、
0:22:57	いわゆるほとんどコウ。
0:23:00	その押し出された力によって、津波後からの押し出された力ですよ。
0:23:06	それで、物が動くわけですよ。
0:23:09	流速のような感じで流れていくっていうことではなくて、押されていくんですよ。
0:23:15	サポートは何だか、お車に溢れ、流れていくんでしょうって言ったときにはそれは、推進力あるからですね、榎並氏に、それが基本的にはヒラノ式であったり、そういったものが、荷重として、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:27	見込めるわけなんですけど、実際にそれだけのスピードでいくわけですが、それが衝突するという前提設計上前提になったわけですよ。それを
0:23:38	防がなきゃいけないってことであるわけだから、
0:23:41	基本的にはそれだけの
0:23:43	波力に対しての抵抗行基本、この
0:23:47	何だっけ。
0:23:50	引き止める力としてですね
0:23:53	15 ページに確か書いてあったと思うんですけど、
0:23:56	うん。
0:23:58	15 ページでは、性能目標としては基準津波の波力による作用荷重に対して、破綻しないことがこの値、
0:24:05	係留索等に求められるわけですよ。でも実際にやってる評価方法はそうではなくて、
0:24:11	そこが指摘なんだよ。
0:24:13	だから、ここでは力、
0:24:17	にも耐えられるよう、係留力ですね船が押され、押し出された時に、
0:24:22	それを出す方法を考えないといけないと思うんですけどいかがですか。
0:24:26	土肥今いただいたやつですとちょっと我々が今考えてのと同じ波力っていう観点で、同じ波力ですけどもちょっと違うと思っ
0:24:34	どうい津波になるかっていうことについては当然その時間、時系列でどうい水位がその場所で上がって、どう下がってきて、その場所に当然入居というのは評価できますので、そこから見ていきますけれども、その
0:24:49	バッファ%それは、
0:24:51	信頼を受ける。
0:24:53	打撲でしょ。
0:24:54	ちょっと、
0:24:57	そういった力も踏まえて考え、
0:25:00	計算が増えると思ってやってるから、
0:25:04	想定が多く、
0:25:10	まず北海道でカナダです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:13	津波の評価してる中では、当然はこうであるとか、もちろん流行であるとか、流速であるとかっていうのは、基準津波を決める中でも同じその式の中で計算してると思ってます。
0:25:25	その中でのそれぞれの信頼性については、その場所の場所では地形をちゃんと見込んでやっておりますので、その時点でどういうふうに上がったかというふうに下がったりするかということについては、
0:25:36	すみません
0:25:38	今までのね。
0:25:40	過去から含む、含めてだけ適合性審査の、ずっと前からも含めたけどこれ差分法なんで、ちょっと条件があったら、
0:25:49	中身が大きく変わります、差分法だから。
0:25:53	ね。
0:25:55	もともと我々の基準規則の中に書いてあるんだけど、あくまでもこういうシミュレーション中、津波解析っていうもの自体にはある程度、
0:26:03	不確かさが含まれている。
0:26:05	ということも考えて行っているんですよ。その中で、ある程度考えるナカノ代表性として今、基準津波があるわけであって、
0:26:14	例えば流向流速だとかそういったことも、
0:26:17	どうもその物揚岸壁を対象として基準津波選んでますか、そうじゃないでしょ。
0:26:23	違います。
0:26:25	そういうことを考えていただいて、
0:26:29	割と結果ありきの方向に話を結びつき着させるために、
0:26:35	話を振興させようとしてもやっぱり我々としては、網羅的に、
0:26:41	代表的な、
0:26:43	辞書を押さえ込んで、それに対してどの程度の保守性を持ってるかという審査をしてるんですよ。このつなぎのナカタニつなぎ設計って、
0:26:52	その辺もご理解していただかないと、監査、
0:26:55	コウハバサキ話、幾ら言ってもらちが明かないと思いますけど、いかがですか。
0:27:02	今日の受けたそのコメント手数料、どういうふうに対応するかっていうことについて、今この場で即答しかねますけれども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:09	例えば波力の受け方であるとか、一般的な津波とかあとは例えば藤沖にあるような風車とか水力、
0:27:21	古川先生ありますねああいうところのやつのはやりシミュレーションとかかなり激しい動きのやつになってやってるやつがありまして、そういうのを見ていった上で、我々としても今考えてますけども、
0:27:31	今おっしゃってるのはFEMA式を使うとかそういうのはちょっとちょっとですね、これ津波なんですよ、単なる
0:27:39	潮流の話をしてるわけではなくて、
0:27:42	ある程度もう津波としての適用性ということと言及しないといけないんだと思います。
0:27:49	北海道管理体制、その辺を我々としても津波だってことはもちろん十分理解しておりますし、過去に東北に来た津波であるとかそういう時にどういうことが起こったかってことも一応確認はできております。
0:28:01	その中で、今回の津波の時にどのようなシミュレーションするのかっていうことについて、少しまず専門家の意見とか聞くために、ちょっと具体的な先生の名前出すのもちょっと失礼かもしれませんが相談したりであるとか、
0:28:14	あとは笑声んの会社で結構シミュレーション係留のやってるんですねそういうところと相談しながら少し今考えてるところです。その中で、我々のやっているこのやり方に、その理論式を用いて、
0:28:27	例えばコウダム当然上がってきますので水がぐっと上がりますから上がるところを押さえ込むような係留すると当然すごい力がかかってしまって、船水準しかないんですけども、
0:28:38	船が基本的には津波段波でコウどんと来るっていうようなことを想定すると、これかなり難しい話になると思ってます。ただいまの津波の
0:28:48	上がり方とか下がり方を見ると段波の形では来ないというふうに考えておりますのでその中で船がこう動いていて、
0:28:58	どこどこ。
0:29:02	今を、基準津波として選んでですか。確かに12の波源の20%ですかね、それについて、当然津波来ると訊いの状態っていうのは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	健全な地形にはなってるでしょうからその状態から、すいませ ん、江崎ですけども。
0:29:19	そこまで言うのであれば、技術さんにわからないことを確認して ください。
0:29:28	ちょっと今の理解では、基準値が変わらないことってというのは、 いわゆるね、評価点が変わってるわけだから、評価点で抱えたと しても、基準津波に影響を及ぼさないことを説明してください。
0:29:49	鳥飼悪くて申し訳ないです。評価点を変えるってというのは、船の コウとこに来る津波の速さとかっていうのは、当然その評価点ノ ザキ岸壁の、
0:29:59	市で最大はサノ。
0:30:02	筧。箱オカとその流速というものを、
0:30:07	基準津波以外からまた選ばなきゃいけなくなりますよって話で す。
0:30:11	流行とかね。うん。
0:30:21	それはその基準津波ってのはあくまで今、基本的には一番高い津 波を防潮堤防で来るやつを選んできてますのでそうではなくて、 その後、
0:30:29	船があるところで、そんな話をするそうです。
0:30:33	どうぞ。
0:30:35	施設として、最大のリスクですよ。
0:30:38	電力線が、
0:30:39	表裏漂流してしまう。
0:30:42	共有して基本的には防潮堤防とショートするという、
0:30:46	そういう現象ってというのは、
0:30:48	膨張てすらそそうね、大きく損壊してしまうっていう状態な想定 されるわけですから、それを防ごうとしてるわけですよ。
0:30:58	だから、防潮堤が壊れるといった事象から考えたら、いや、い や、機能喪失、機能喪失する。
0:31:06	事象があるんです。
0:31:09	そのリスクが大きいんであればそれは一つの対象になるんじゃない ですか。
0:31:16	ある程度保守的に考えて、
0:31:19	今決まっている基準自身が基準津波の中で、
0:31:23	ある程度の事象をされ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:25	保守性を持たせて設計することで、そういったところまでは包絡しなくてもいいといったことで考えていくのか。
0:31:33	厳密にやるならばそういうことじゃないですか私が最初に言った、
0:31:36	言われてるのは批判されてもかなり厳密な話を逐次されていっているんで、
0:31:43	今ちょっと、ちょっとだけ理解できましたけれども、基準津波決めてるのは今基本的にはやっぱり防潮での前面での高さを考えると、それに対して今溪流線係留してるところってのは一応ずれてますんで今基準津波の中でやってるところの溪流部のところについて、
0:31:58	当然防潮庭が壊れたりとか、両方ともなくなったりだとか、あとはその波源を近づけたりであるとかそういうの全部見ていってるわけですがけれども、それ以外のところのやつケースを見て、それがどの程度の感じ性があるかってことを確認しろっていうそういうような意味合いですかね。
0:32:12	もし仮にそういうことをやって、今もちろんそもそもピタッと例えば、アノ力が1000kNかかりますってなったらその1000kNの係留索にするつもり当然なくて、
0:32:22	例えば2倍ぐらいの良い物とか、係留策自体にそういうところで余裕は当然見ようと思っています。ただちょっと今20%コウ全部刻み眺めてみると、
0:32:32	やはり膨張防波堤がないやつの方が港湾内での流速はどうも速い傾向があるというふうに見ています。
0:32:40	今基準津波が来る段階では、少なくともつつ、護岸健全な状態なんですけどそこで止まっている状態から基準津波を引き起こすような地震が起こって、
0:32:52	一応今は防波堤も壊れるってことも全部見た上で、最大の速さになるやつを見た上でまずはそれがどれぐらいになるかってことを確認しようと思っていますけれども、そこに対して今度、
0:33:03	もう少しその違うやつをいじってみたときに、それが大きく大きく不合格はないかってことまで確認しろっていうそういうことですかね。
0:33:11	これ。
0:33:15	編成になるのであれば、
0:33:24	規制庁だけですけど、今のところね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:28	基準津波の入力西郷膨張て前年、それと3号機12号機。
0:33:34	ハウスイの主水路、そういった観点、
0:33:38	その地点でチャンピオン選んでるわけですね、それぞれ。
0:33:42	それぞれが必ずしも同じ波源ではない。
0:33:45	同じ派遣だったらいいですよ。
0:33:47	同じ波源ではない。
0:33:49	そういうことも考えたときに、ものが完璧は、
0:33:52	今まで選んだ中で、一応その提出されなかった、いわゆる選定されなかったものを含めた中でも含めても、
0:34:01	今まで選んだ基準津波から変わらないんですかと。
0:34:06	どこが厳しいんですかって入力サービス、観点からも変わってますよね波源はね、ケースをね。
0:34:12	そういうことから考えたときに、
0:34:15	絶対変わらないってことは言い切れませんよね。
0:34:19	北海道の金田です。おっしゃっているところはそうかもしれません。今20%全部見て、かなり幅広くいろんな種類の津波が来るのは見てますけど確におっしゃる通り、
0:34:29	ターゲットとなっているのは、膨張てであって、燃料輸送線が止まっている場所をターゲットに置いてそこに一番高いとか、一番その速いとかっていう観点で見てないってのは事実でございます。
0:34:41	その層ちょっとどの程度それを例えばその感受性っていうんですかね、そこにばらつきがどの程度あるかってことについて、神田ですね、あるのかということについてちょっとどういうやり方していいのかっていうのはすぐにちょっと即答できませんけれども、
0:34:54	今おっしゃってるような、
0:34:58	あそこでもって、
0:35:00	造成をして、
0:35:02	売れない。
0:35:08	今日いただいたその今のコメントで結構重たいコメントだと思ひまして、
0:35:11	今まで基準津波の議論をさんざんしてきた上で、その中でかなりの、
0:35:17	主にできましたから、その中でさらにその防波堤全部壊れるところ壊れた方が厳しくなるところ、実態としては防波堤というのは

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	壊れても残ってる状態ですから、健全ではないかもしれないけど その中で、
0:35:28	不健全な状態の時は、やっぱりマイルドな動きになってるって いうのは、今見てると或いはそうなってますので、そこでも少し裕 度があるというふうに考えてますが具体的にすべてのすべてどこ までできるかっていうのがありますけれども、
0:35:44	今は荷重は、正直言って倍ぐらい見ようかなと思ってます。
0:35:50	認める時です。それから基準津波をやり直せなんてつもりはない んだけど、
0:35:55	厳正に厳密にやるんだったら、そこまでやらないと、かなり危険 ですよと。
0:36:00	ウタサイトウオクを踏まえ、
0:36:02	状況っていうのはほとんどのところが、すべての今まで審査した ところっていうのは、ほとんどその 26. タニグチアノ。
0:36:10	影響評価をしてしなきゃいけないつもり。
0:36:13	津波に対して、ほとんどが一波で、
0:36:17	決まるんですね。
0:36:19	高さも、
0:36:20	流速もほとんど、
0:36:22	それで決まります。ここは複数ありますよね。だから場所によっ て、
0:36:28	入力津波高さが、
0:36:30	同じ波源ではない。
0:36:33	また大井ですね。
0:36:35	そういうことも含めていくといろんなケースを考えないけないそ れを厳正にやるんだたらそう。ただ、
0:36:40	保守的に考えて、ここだけ見とけばそんなことは気にしなきゃで も十分。
0:36:47	余裕があるよと例えば、
0:36:48	箱で言えば、一番高いところよりいい、
0:36:53	ぐらいの箱に対しても耐えられるとか、
0:36:57	現 0 孔内で一番大きい基準津波の総入力高さよりも高い箱を考 えても大丈夫だとか、
0:37:04	予測を考えても大丈夫だとかするんであれば、それは可能だと思 うんだよね。今のコウないっていうとやっぱり漂流物としてこう

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	グルグルとかもあるわけじゃないので船が着岸されてる場所に近いところっていうのは、多分そういいと思ってるんですけども。
0:37:20	確かにそのすべての津波を見たときにここに来るやつ一番、
0:37:23	早いとか高いとか、そういうのにしてみなきゃいけないと思って今は波源ごとの例えば 20%と 20 種類に対して、どこの高さまで来るんですねっていうのと、それに対して洗足が船当然その重圧面積は、洗足でかいですから、
0:37:38	洗足側に一番力を受けてなおかつ同じ津波の中出選手側から、一番力を受けたときに剛性としてどんだけ後から後に入ってきて、それを抑えられるんですかって 20%センミョウと思ってます。
0:37:49	例えばそれを津波、基準津波をコマツ上がって、
0:37:52	MACCS どうなりますかっていう評価っていうのはまだやってないんですけども、そういうところは本来その基準津波の評価の中でそういうことやってませんけれども、今回そこをターゲットに置いてすべてのことを評価するってのは現実的に無理だと思ってますので、
0:38:06	例えば 20%選んでるやつの中で、その中で一番厳しいところの条件をまあ、いいところと悪いときどこ取りした上での評価を試みるっていうのは、
0:38:16	やりようとしてはあるのかなというふうに思いますけれども、今そこまではまだやってないところです。
0:38:26	江崎です。このエミカンピの位置が、
0:38:29	ただ、防潮庭の位置から比べてはコウが半分だっていうのであれば、必ず半分になる。
0:38:36	ていう。
0:38:38	科学的合理性のある説明をしてください。今エビデンスを示してください。
0:38:42	例えばこういう周期的にこういう周期的にっていうかね、そういう応答はしない。
0:38:48	うん。
0:38:49	ちょっとカナダです。
0:38:51	頭がさっぱりわからず、今おっしゃってたのはコウ防波堤のところにくる値基準津波が例えば 14 メーター単純ですよ例えば、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:02	平面 2 次元で、ある一定方向の角度を持たせて制限はある、不考えたときに、それがそう制限はとしてのその応答が変わってくるわけじゃないですか、いわゆる地震動でいうと大人ですから K-0% って、
0:39:15	考えていくとそれがあるこういう周期があって、応答倍率が上がってきて、それは津波の高さが上がってくる。
0:39:22	そういう観点です。だから、いわゆるレーキですよ。利益っていうことが起きなくて、じゃあ安保調停側の方はなぜふうに、津波が高くなるのかっていうことも含めて分析してもらって、
0:39:34	絶対その死刑効果として、頭の中じゃなくて、はい、論よりそこで示して欲しい。
0:39:40	うん。観点そこでトガシてますよ。私今は北電カナダです。ちょっと私頭ん中で完全に書いてませんけれども、防波堤のところ、防潮てのところが高くなってる津波が、
0:39:52	ここであれば例えば 16 だったら、今 20% 見てみると係留させそこで一番高いので 12 メートルの高さになるんですよ。なんで乗上げるの間違い乗り上げと思ってます。その 12 メートルと例えば 16 メートルのその差分の 4 メートル出るのを、
0:40:06	ちょっと技術的にちゃんとこういう理由だからそれぐらい差出るんだっていうことを説明するっていうことを、指摘としてされてる形ですかね。だから、多分制限はとか言ってもらってね。荒谷。
0:40:17	そのある場所、基準津波の高さの 1 ぐらいのところ波源を入れてもらって、歩いて一つの正規は的なもの、それはいろんな角度で振ってみて、基本的に、
0:40:27	ムラカミ品するところでは、属せずに、
0:40:31	包丁前面では、どのような比率対比でそれはどういう、
0:40:37	効果があってそういうふうになっているのか。
0:40:41	だから、いわゆる単純化して物事を単純化して考えてあげると。だから、
0:40:47	患者さんが言ってるのはね、
0:40:49	地形考案層、発電所構内の海底も含めて、そういった地形も含めていったときに、ここでは実は見や、
0:40:59	これはそんなに大きくならないんですよとってるんですよ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:03	ただそれをどのように証明するかっていうと、口で言うんではなくて、地形がこうだからということではなくて、それはある程度その応答をとる、地震自身をトガサキであれば応答特性とか、そういったものを、
0:41:16	なぜゆえにその地層の、 V_s V_p の関係で大きくなるのかってのは分析できますよね。
0:41:23	それが多分地形通の効果だと竜空リュ流行だから、流行の関係ですよね。ルール、いわゆる津波の進行方向の関係性。
0:41:36	でその説明ができると思うんですよね。
0:41:39	それが多分コウ案内であると一周ぐるっと回って、ミナミが出ていくって言い方をされてると思うんですけど。
0:41:46	そういったことを、
0:41:50	地形効果を、原理原則的に説明できるという、
0:41:55	数値解析的に説明いただきます誓いセキってか、トラトライしようと思えますけれども、まず今回の流行の分析っての当然基準津波を評価する点の評価点の一つとして、その場所の流況で出して、
0:42:08	その津波が、そこで
0:42:11	防潮底の前面で何メートルになるようなツツミダテが、それぞれの場所でどういような流況で、どういような層高さになってるかっていうことについては、我々その信頼性としては同じ評価をしてるんだというふうに思ってますけれども、
0:42:24	それがそういうふうになる必然そうなるんだっていうことを少し説明しろというそういう趣旨ですかね。
0:42:33	エザキですけども、例えばね、
0:42:36	地震動の1回場所、
0:42:38	地震動でね、地震の方で、耐震の話でそうすると、例えばある地形があって地形効果とあと地層と地層のその、
0:42:47	地質ですよ、 V_s とか V_p とか、そういったものからずっとその層理の基礎地盤構造、
0:42:54	層構造、そういうことが考えて、基本的には、どういう応答特性になるかそれは、ある程度制限はあれ、ランダムであり、そのランダムが、
0:43:04	ある程度周期は、応答の周期あるかもしれないけどもそういったものも踏まえたときに、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:10	どのような応答を示すのかっていうのは、ある程度その
0:43:14	単純化して考えていけばすぐわかることですよね。
0:43:18	なぜにそこが応答が小さくなる過疎、ある一定のところで応答が大きくなるのかってのはわかると思うんですよね。
0:43:24	そういったことを、
0:43:26	基本的にちゃんと実証していただければいいと思うんですが、
0:43:31	ちゃんと検証したものを実証して、町としてそうですねまず津波当然波源があつてだとか流れてきて、1番目に重なる場合もありますけれど、Lハタケですかね、あとはみんなその2番目で、
0:43:43	山体崩壊と重なって入ってくるんですけども、そのときに、それぞれのところっていうのは、私は一連の流れの中で、それぞれのところの流況というのを評価してるっていうふうには理解してるんですけども。
0:43:55	そうなる必然がどうしてそうなのかっていうことについて少し整理かけるっていうそういう趣旨でしょうか。
0:44:01	高さん、私が言ってる趣旨ってわかります。
0:44:05	全然わかってないよね。だから、菅さんが言っているのは、地形とか、構内の発電所の構造、
0:44:14	それによって、こういうようなものはキャンピングカーっていう、
0:44:18	かなり小さいね。
0:44:19	ですよと、膨張てのところはかなり多くなりますよと。それって地形効果なんで、どういう波源であるかどういう。それが、
0:44:28	進行方向で来たって、こんな事故とか言ってるんですよね。それは基本的に言うと、
0:44:36	物自体の応答特性を示してるわけだから、総合特性っていうのは基本的に、地形効果とか、そういうことですよね、ここで言うと。
0:44:45	そうした
0:44:46	ものであるということを説明できれば、基本的には
0:44:52	どんな津波が来ようと。
0:44:55	そちらが優にもものは完璧なところで、基準度で出てきている。
0:45:00	もので考えれば、ある程度説明はついてるって異なりますよね。
0:45:05	いわゆる、
0:45:07	もう、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:09	決定機能いわゆる決定する主要因が地形であるから、地形地形が、
0:45:16	地形的にももの岸壁の時は、例えば防潮堤に対してクラベたとしても、
0:45:23	十分小さい。
0:45:25	値であったっておかしくない。
0:45:28	必ずそうなるって言い切れるわけですよ。
0:45:31	まず藤安保、防波堤の壊れ方によって入り方が違いますので、中での流れってのは当然違うんですよそれぞれの波源に対して、当然あるんですが、ただある一定の多分、何でそうなるかっていうルールがきっとあると思いますので、
0:45:48	荷揚げ場の岸壁のところの溪流部のところの、
0:45:52	例えば高さが、津波高さが12メートルで、防波堤の防潮堤の一番高いところがジュース4メートル5メートルですっていうやつを見たときに、この値がそうなるのは、
0:46:02	その敷地の形状であるとかそういうのを考えたときに、これはこうこうこういう理由で妥当な理由なんだという状況なんですっていうことを少し整理かけるという、そういうことでしょうかね。
0:46:21	で基準津波ミイのな、今、タダ基準すら話がしますけれども20%やっていますと、でやってその高さっていうのはそれは今審査でこの高さになりますっていうのは、防潮底の前面では一応決まってきた、
0:46:33	高酒句ですね、名倉コウはテラダ膨張テラダカセコウしましょうっていう議論をしていると思うんですけども、
0:46:38	それとは別に、そういう津波が来る時に荷揚げ場のところっていうのが、防潮底からこれぐらいの距離が離れていて、そういうところであればこの程度の高さになるっていうのは妥当だということ、整理をしろという、そういうふうにとらえてよろしいでしょうか。
0:46:54	規制庁の江崎です。その通りです。であれば、基本的に、他の病院でフタツカ性、
0:47:01	要員が減るんだと思うんですよ。
0:47:09	この地形の影響で、基準津波っての確かにあの高さを中心にそれも防波堤の一番高いところ、防潮堤の一番、どこまで登るんだってこと一生懸命調べたわけですよ今まで。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:19	それを調べる波源の中で、波の中で、この場所はこの波になるんだけどもそれは地形的な要因でこういうふうになるっていうのが妥当だっていうところをちょっと整理かけることをちょっと考えて、できるかませんよって考えています。
0:47:31	その上で、そのすべてのなんちゅう波源に対してその場所だけをターゲットに置いて検討するってのはなかなか非常に、
0:47:38	コウタカギない話なってしまいませんその中で次は融度としてそう見たときに、そのばらつきってのはこの程度なんだから、それに対して例えば聴力として発生するものに対して5割り増しで設計しますとか、
0:47:50	そういうようなことをやった上で、
0:47:52	係留策としての成立性、
0:47:55	ところであればまだあれですかね。
0:47:58	なんかでそれでもいいと思います。第一段階でそれでもいいかもしれないですけどね。
0:48:03	だから、基本的に言うと裕度という観点、
0:48:09	荷重を倍掛けして、
0:48:12	話した方が僕は話がわかりやすいと思います。
0:48:17	おっしゃる通りだと思ってまして、結局その速さに対してど、どんだけばらつきあるって言われてもなかなか難しいなってただそれでも今おっしゃってる通り、まずはその理屈として、何でこの、
0:48:28	後に揚場の船がある場所のところに対して、同じ班でこんだけの差が出てるのは、その地形的な理由でこういう理由だからっていうふうにとちよっとかけていきますけれども、最終的にその出てきた値っていうのは、
0:48:40	津波の高さによって今海野ナカニシンか埋めますので、津波が高くなると当然船に対して、経営企画課と思ってるんですね、ロープに対する張力ってのは、津波が高い方が、引っ張る力としては当然強くなってきます。
0:48:53	そういうのを考えると、例えばそうなるんだけども、そこに対して1歳はやっぱ聴力で裕度を持つっていう話にしかならないので、
0:49:14	規制庁の江寄ですけど、例えば箱が上がった仮に上がったとしてもね、どの程度の余裕持ってるのか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:20	ていうことだけだと思うんだよね。だからそういうことを考えた箱流速だよね。
0:49:25	そうした時に現実面と離れたような余裕を持たせたってあまり、
0:49:30	参考にならないですよ、参考というのは、審査にならないですよ。
0:49:48	本当はね。次のコメントも話しちゃうけど、私の方で、ちょっと僕の話終わってないんで全然。
0:49:57	竜華アノ流速と高さの話はね今江崎の方から話があったから、そこら辺でどういうふうにまとめていくかというのをよく考えてきてください。必要なものがあればやってくださいっていうことだと思ふし、ちゃんとかくかくしかじか根拠、
0:50:12	こういうことなんで、こういうふうに考えますっていうところもしくは何か示せるものが、
0:50:16	やらなきゃいけないシミュレーションやるかどうかは知らないけれども、やるのであればやってくださいよ。その上で、コウた高さとか流速とか、そういったその波の、
0:50:28	形状みたいなどころも含めてね、文庫、こういうことを考えればいいんですよというのは、ちゃんと考えてきてください。それをもとに、
0:50:36	ちょっとさっきアノ氏がちょっとちょっと言いたかったのは、さっき言ったように何か流速くうのところだけで、一定の値流速のところだけの話で何倍かとりましてから結果的にはこの中に長村いいやと思っはいるんだけれども、
0:50:55	本来ね、津波が来ました、船が少し押し出されますそれに立って進化に止めるとロープが引っ張られますというときに、
0:51:04	加速したものが、ロープによって拘束されて止まるんですよ。そうずっと加速度がかかるんですよ。だから、これ物理現象ですよ僕が言ってんのは、
0:51:14	一定量の中でね、ずっと日程の力がね、変化せずにやる、やって
0:51:21	かかる力と話が違うんですよ加速したものがイケダGoodと止められるんですよ。
0:51:27	速度0にするわけでしょ、漂流物にしないってことは違うんですか。
0:51:32	まず加速度の話、考えてないわけじゃなくて、流速やっぱりその時刻とやっぱり変わっていくんですよ。当然その係留索ってい

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	うのはロープ何だけやっぱり伸びるので、そのがんという力だけじゃなくて伸びてる中で、
0:51:45	加速度の中でどんだけフルヤ結局動きますかってのはそれが伸びのロープの中で吸収できるのであれば、そこは加速度等で受ける力と、ロープの日でこう慣性力みたいなコウをキャンセルアウトしながら動いていくっていうことを考えてましてその辺の整理をしていこうと思っています。
0:52:01	その考え方もあるんだけどもロープの伸びるね、す。伸びて音力がそんなにね過大にかからないっていうね、時間軸とね、加速していくね、時間軸がね。
0:52:11	おんなじなのかとかね、甚だなんかでかい津波が一気に来た場合にそんなもの余裕はあるんですかねって話になってくるわけですよ。ロープの話しかしてないんだけど、
0:52:22	ロープと全体固定どうするんですかとかね、僕思ってますよずっとそしたら先端にね、固定されてるところの方がさ、過大な力がかかるんでしょうとかね。
0:52:31	もしくはね、そもそも船がどういう挙動を示すかって僕、根本的にそこから始まるんじゃないかなと思ってるんですよ。
0:52:39	全体がどういうふうに動くのか、浮いてから水平方向に動いていくのかそれとも岸壁にぶつかりながらいくのか、ロープを完璧に引きずりながら動くのか、いろんなことが考えられると思うんですよ。
0:52:50	そういうところのケースの中で一番厳しいところはここですよとかいう話があるんならまだしもね。
0:52:57	単純に行っている中で何か考えてますようだけで示されてるんだったら、津波が来たときの挙動をさ、ちゃんとさ、考察してさ。
0:53:07	示してるわけじゃないじゃないですか。
0:53:10	だって、これ石油会社のやつだって、津波さっきも言ったけど、津波来たときの話じゃないでしょう。
0:53:18	最終的に、
0:53:19	津波の流れとして、ある程度安定したときに対してはこれは僕使えると思ってますその時には当然のことながら、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:27	そこに行き着くまでの短時間の挙動をちゃんと考察してそれに対してどういうところを注意しなきゃいけないのかどういうところが、
0:53:36	何かやばそうとか、弱点なのか、そういったためにはこういう対策をすればいいんですっていうのが、全然分析されてないじゃないすかいわゆるまあよく言うんだけど損傷モードちゃんと考えてそれに応じた対策ってちゃんとやっていますかって。
0:53:50	僕はいつもそういうところ求めてるんですけどもね、言いたいのは、その中で、この流速一定のやつだけ考えりゃいいなんて本当大丈夫なのっていうところを、
0:54:00	を言ってるわけですよ。だからこれだけ適用してるのがいいの適用性を教えていただけそれから外れちゃってるところの協働っていうのを、ちゃんとを考えてますかっていうところだと思ってんだけど。
0:54:11	放電力ネダです。ちょっとやっぱりその一定流でだけ考える最終的にはその流速の時にかかる力って意味ではそういうやり方をする事になると思うんですけども、当然来た津波に関して、その当該の場所に対して、どのような流況でどう上がっていつてその時船がどういう挙動するかってことについては、
0:54:28	考えて、その時に力がどういうふうに変わっていつていつていうのは、当然、先ほど加速度の話もありましたしはこの高さの動きもありますし、そういうのをどういうふうにして吸収していくのかとか、
0:54:39	どうやって船が動いていつてそれをどう抑えるかということについて当然中でいろいろ議論してるところであります。そういうの含めて少し整理した上で議論させていただきますけども、それは我々も、おっしゃる通り単にこう言ってるよってこれだから大丈夫でしょっていう単純な考え当然じゃなくて津波動いてますので、
0:54:54	当然上がっていつて、今度は引き波になりますか引いたときにはどう動くんだとか、そのときに当然そのまっすぐだけ新しい7メートルかモーメントかかったらどういうふうに船が少し動くのかとかっていつていつていつても、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:05	中でいろいろ議論してその辺の成立性についてこれから、2回目の審査会合以後説明しなきゃなと思ってますけども、今日前段にいただいた、そもそももう
0:55:15	船がそこにある場所のところのやつ見てるけどそれがそもそも信頼できるのは本当必然なのっていうその江崎さんがいただいた方のコメントというについてまず、
0:55:23	我々としてこう考えてるから、そういう力があるって、有効になるのは、そういう地形であれば、ここは必然なんですっていうところを整理した上で、船として全体としてこういう津波、どのような動きをするんだっていうことを整理してそのときにかかる力が、
0:55:39	こういう局面が一番変わるんだったらその時の、やはり、結局最後力流速かかってどういう方向から買ってるかっていうところが非常に重要になりますのでそれは、単純な式で最後出していくんですけどそこに至るところまでのところが、
0:55:51	変なその力がかかってロープがバチンで切れちゃうことが起こらないかっていうのは、やっぱり係留のそういう専門の人といろいろ話をしてみると、やはりその余裕のないやつを使うと伸び伸びが間に合わなくなったらこう、ぎゅっと力がかかってそこで衝撃力あたりでパチンと切れるっていうのは、
0:56:05	経理の世界ではよくあるらしいです。そういうのがないようにちゃんとその全体たち船が動く中で、どうやってそこを吸収していくかってことについて少しもう少し整理した上で、
0:56:15	成立性についてのところは、説明していこうと思いますけどその前段の、そもそもどういう流況を使うのが妥当なのかっていう、1イマイ+当初一番最初にいただいたやつについては、
0:56:25	少し考えさせていただいて、まずは
0:56:29	別にその言い換えをやったわけじゃなくて、そういうふうになるのが必然であって、それに対して、確かに不確かさっていうか、全部の、そこだけをターゲットに置いてあとすべての評価をするってことは実質できないでしょうから、
0:56:41	それに対して出てきたその係留索の発生する張力に対して、この程度の裕度を持ったものを作るっていうような形で、少し検討を進めたいと思います。
0:56:56	規制庁忠です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:02	津波があったときにどういう挙動するかっていうのは、申し訳ないけどある程度僕パターン化できるんじゃないかなと思ってのんですよ。
0:57:10	はっきりいいんですけどね。
0:57:12	そこら辺は何か船のね幾何学形状等をスロープの長さに依存してね。
0:57:19	動きがこういうような動きってのが、想定されますとかいうのは、幾らだってできると思ってのんですよ。その時に、じゃあどういう条件を用いたら、
0:57:30	一番厳しいことになるのか。
0:57:33	今ロープで吸収することで、何かやろうとしてるんだけど本当にそれだけでいいんですかっていうところは本当に検討してください。
0:57:42	北海道カナダです。確かにパターンができるのはおっしゃる通りで、津波が上がってく元どうしても押し波で来ますから、それが船に対して並行できてる流れがあるところから、
0:57:54	尖足に対して垂直になるその時にどのような動きをするかということについて、あと引き波のときも同様なので、確かにその4種類ぐらいのパターンには多分なってくるんだと思います。
0:58:04	そういうのを整理して、どう動くかということと、あとかかる力を吸収するといった形で当然その日のビッドってかロープの強度でもっていくんですけども、それがどういう力が船がこうなった時にかかるのかっていうことについて整理した上で、
0:58:18	そこをちょっと最終的な最後数字、数字でしなきゃいけないと思いますので、そういう整理を進めていきたいと思います。
0:58:36	規制庁の江寄ですけども、石田さん。
0:58:40	聞こえてますか。
0:58:45	石田さん聞こえてますか。はい。石松アシダさんの方からも確かコメントがあったと思うので、よろしくお願いします。はい。いいですかね。
0:58:53	ですね今の話をですねずっと聞かせていただいているんですけど、
0:59:01	ちょっとさっきから、
0:59:03	滝井。
0:59:04	それからタダウチがですね、指摘している話っていうのはですね、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:11	非常に、何だろうな。
0:59:14	基本的な前提。
0:59:16	であるとかですね、そういう考え方のところがですね、をまずきちっとしてくれっていうことを、繰り返し繰り返し申し上げているんですね。
0:59:26	どうも事業者さんはですね、
0:59:31	我々規制庁側がですね、繰り返し申し上げていることと違う。
0:59:38	ちょっと違う方向の
0:59:41	話を先ほど図は、先ほど来ずっとしているように、聞こえております。
0:59:46	その上でですね、私の方からちょっと伺いたい、気になってる点を申し上げるんですけどもね。
0:59:55	まず、
0:59:57	ハンエンの話ですね、先ほどからは下の話で、いろいろありましたけれども、
1:00:04	今回のですね、メール輸送線の漂流化の評価。
1:00:12	この評価というこの命題に対してですね、どういう波源を選定するかっていうですね。
1:00:19	基本的な考え方っていうのは、何も示されていないんですね。
1:00:24	なので、それをまず示すことが大事だと思います。
1:00:29	まずそれいかがでしょうか。
1:00:33	うん。
1:00:36	北海道の兼田です。今ソネ流走線が係留されている場所をターゲットにしたような、例えば流況流速っていうの最大値を求めるといって評価を今まで基準津波でやってないのは事実だと思ってます。
1:00:47	なので今は基準津波で議論した方は手が壊れてるケース、南北南北両方とも、それでさらにそのだんだん近づけてなるべくコウ速い津波が来るようになってきて、ハヤシサングウルートで高い津波になる傾向がありますので、
1:01:02	そういうナカノやつすべてのその20%に対する評価をしようというところが、今の基本的な考え方です。
1:01:10	支店長三品です。
1:01:11	えっとですね。
1:01:12	ちょっとやっぱりねピントがずれてるんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:17	この燃料輸送線の恐竜評価にとって、
1:01:21	厳しい波ってどういうものなんだかっていうのをですね、
1:01:26	まず考えていただきたいんですね。
1:01:28	流速依存なのか水損なのか、入居依存なのか。
1:01:33	或いは葉系依存なのか。
1:01:35	そういうようなものをですね総合的に見ていって、
1:01:40	評価に用いる波源ってというのが選定されるものだというふうに思っております。
1:01:44	で、これはですね、先日からですね、防潮堤防ホウジョウ生アノ成立性で、津波荷重に関して、どういう
1:01:54	波源を選定するかというところでも全く同じお話をしてですね、そういうことを、今、水流速流況は形っていうそういうことを申し上げましたけれども、
1:02:06	そういったようなもの全体を見た上でですね、どういう波源を選定するかっていうことをですね、整理してくださいってことをお願いしてるんですね。
1:02:16	これも全く同じだというふうに私は思っています。で、今お答えをいただく必要はないんですけれども、そういう視点できちんと整理して、
1:02:28	その整理した結果を提示いただきたいと思います。
1:02:32	そこはよろしいでしょうか。
1:02:35	北海道の金田です。今その20%見ましてその中で、結局そのアノ船に対して厳しい津波って何ですかってところは、例えばその波高であるとか、流行である、波高流速、流向ですかね。
1:02:49	それに対しては厳しいかってことはそれは、基本的なことは整理できると思います。
1:02:53	ただその次に、じゃあそのどの波が厳しいんだってなると言えば対象内なんのんつ何のみを見て、厳しいか厳しくないかっていう議論をしなくちゃいけないとなったときには、今は基準津波のところから抽出してるっていうのが実態ですので、
1:03:07	それ以外のやつにもっと厳しいのがあるかないかって議論というのはちょっと今できてないというのは事実ですね。ただそこは、やってみただこれぐらいのばらつきになるのでそこに対して、ある係留策に対して裕度を持つことで、
1:03:19	経理の健全性について、我々は担保取りますっていうような、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:24	荷重として取りますと、
1:03:26	そ、
1:03:27	今厳しい。すいません。どうぞ。
1:03:31	規制庁石田です。厳しいというのはですね、今基準津波で 20%というものがあって、その 20%の中から選択するっていうふうに、
1:03:41	いう考え方であればそれはそれで結構です。その枠を超えてですね、他にも厳しいものがあるんじゃないかというふうにですね、検討の範囲を広げてくださということをお願いするつもりはなくてですね。
1:03:53	今菅 20%の範囲の中で考えてるのであればそれで結構です。
1:04:03	よろしいでしょうかそれで、そこは、
1:04:07	20%なんかを広げるしことまでは、石田さんとしては考えてないよと。その中で、何がどう厳しいんだってことについて整理なさいと。それは我々としても、当然全部の波に対して、
1:04:19	全部時刻歴を持って行った上で見れますのでそこは見る事ができると思ってます。
1:04:26	規制庁の石田です。えーとですね、それがまず一つの大きなお願いです。それからですね、
1:04:34	この燃料輸送線の漂流評価にとって、
1:04:41	厳しい波ってどういう意味なんだろうっていうことを、まず最初にですね、トナミを選定する前に、ちゃんと当たっていただきたいんですよね。これ、先ほどですね、タダウチがですね、
1:04:53	少しお話してましたけどですね。
1:04:57	急に何をぽんと当たったときの要はですね、これ、
1:05:03	いろんなところ試験だったりですととか、解析上のシミュレーションとかやってるんですけども、この津波、
1:05:14	津波のが作用したときの、船の船舶とかの動きってのは、すごく非定常性というか非線形性が強いので、いろんな動き方をします。
1:05:27	タダちいなんかがすごく気にしているのは、今、石油何とカーから出されてる式っていうのはですね、いわゆる定常的な荷重、それから、
1:05:39	そういったような静的な荷重っていうふうなですね、そういう中では理想的な条件の中では比較的评价できるんだと思いますけれども、ちなみに、この場合はですね、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:50	すごく先見して女性が強いので、なかなかそういうのがね、うまく乗らないっていうのは、少なくとも経験的にはわかっているところがあるので、そこを心配してるという話なんですね。
1:06:03	なので、まずイメージで結構なんですけれども、
1:06:09	津波が作用したときにですね、メールを移動せんとそもそもどんなふうにするんだろかというような話、最低限ちょっとですね、把握していただきたいんですね。
1:06:20	で、実は、
1:06:22	私はこの資料見て1. すごく気になっているところがあってですね、ちょっと12ページを見ていただきたいんですが、
1:06:34	よろしいでしょうか。
1:06:40	次、10ページのですね、押し波時の図なんですけど、ちょっとこれ、
1:06:45	見ていただけてますでしょうか。
1:06:51	ております。
1:06:53	はい、えーとですね。
1:06:55	これゴシマ明治の時ですけども、
1:06:59	要はこれ、あれですよ水位が徐々に上がってくる時っていうのは、
1:07:05	ロープだとか、接続接続ロープ、
1:07:09	それからセンター接続ロープ、これっていうのはある程度たわんだ状態でずっと水位が上がっていくわけですよ。そうした時にですね、
1:07:20	薄井がまだ
1:07:23	岸壁高さから露出しないような状態のときに、津波の横方向の強い流れが、
1:07:33	強い流れの差異を受けたときにですね、これ岸壁の角部っていうかそういうところにぶつかりませんか、衝突しませんかね。
1:07:46	いかがですかね。
1:07:49	北電からです今おっしゃってるのは、もし津波が来たときに、最初船首船尾側の方の流れがずっとあって、
1:08:00	いやいいです。全くその横パラにですね、直行した流れが生じた場合で結構です。そういう前提で結構です。
1:08:12	基本的に防舷材があるので防舷材を押し付けられるって形になるというふうに考えてます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:17	それで押し付けられた状態で、さらにその
1:08:24	岸壁高さよりも上の方に露出した被水のところにですね、強い流れが、津波の強い流れが生じたときに、今度はそのこの
1:08:35	岸壁のそのちょうど可動部のところですね、そこを支点にして、転倒力が発生する可能性ありませんか。
1:08:44	まず喫水線の高さというのが大体5メートルあるんですけども、そういうふうな検討はされてますから、まず転倒評価っていう意味では波、津波でかかる力っていうのは、17よりも低いところにしかかからないので中心がその汽水水の強いメール上なんですよね。
1:09:03	なので下側に力かけてるだけではフルヤ転倒しないだろうというふうに考えてます。
1:09:09	しないだろうというのは、何かそれは、解析的に何か評価される今今おっしゃってるところダイレクトになってませんけれども例えばその着底した場合に、津波の場合は結構です。
1:09:24	対上昇時の避難時の話です。
1:09:28	今のおっしゃってることに対する評価がまだできてませんので、ちょっと検討させてください。
1:09:32	はい。えーとですね、私が一番気になってるのはそこなんですけど、いずれにしてもそういうふうですね、津波の作業、作業を受けた時のですね、基本的に、
1:09:44	含めてどんな動きするんだろうっていうところのですね、検討がすごくまだ、
1:09:51	申し訳ないですけど、そこはすごく甘いんじゃないかというふうな印象を受けております。
1:09:56	なので、ここでお願いしたいのはですね二つですけども、まず津波の影響を受けたときにですね船ってどんなふうな動き挙動する可能性があるんだろうというのをまず把握していただいた上で、
1:10:10	その上で、どういう評価に用いる波源を、どういう視点で選んでいったらいいんだろうかという方針を立てて、その方針を明示していただいた上でですね。
1:10:22	そういう方針に従えば、こういう波源が選定されましたです。その結果、網羅性保守性、代表性、そういったようなものがちゃんと確保されてます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:35	ていうふうなご説明をまずはいただきたいと思ってるんですが、
1:10:38	いかがでしょうか。
1:10:40	北海道電力兼田です。まず船の動きの挙動については、不着岸して止まっているところから、津波が襲来してきてその時にどういう動きをするのか。
1:10:52	今、宿題を出していただきました。指摘されました。船のコーナーが荷揚げ場のところに当たるのでそういう時にどういう動きになるのか。
1:11:01	あとはそういう、その動きを全体見たときに、船として評価する。
1:11:07	波源っていうかな、何を見て評価するのかっていうところ、今、基準 20% 見てるっていうところで、先ほど 20 ミリ以上のことで、まあまあ今いいんじゃないのっていう言い方をされてますので、すべての津波について、
1:11:21	どのような動きをするかってことについては、確認して行って、最終的には、やはり例えば船が転んでしまうとかそういう事象が起こるようなものがあればそれはちょっと別の対策が必要なのかもしれませんけれども、
1:11:33	ロープにかかる力を最終的に評価していくことで、係留索のをこの健全性について評価していけるんだということに帰着できるようなロジックを組めるかどうかということについて整理進めたいと思います。
1:11:49	はい、えーとですね。
1:11:51	いや、
1:11:54	ちょっと引っかけられますけどね、別にロープの健全性を評価するんじゃないかって、常にそのものがちゃんと姿勢も含めてですね、軽量、
1:12:04	溪流っていうその位置がですね、
1:12:09	維持されてることが、ことを確認するのが目的だと思っていますから、
1:12:14	そのようなちょっと、本来の目的は見失わないでいただきたいなと思いますけど、いずれもそういうことで、検討は続けていただきたいと思います。
1:12:25	よろしいでしょうか。北海道の兼田です承りました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:29	ちょっとどういうふう完全にやるかって頭ん中で整理されてませんけれども、最終的にはやはり係留索が健全でないと係留できないですから、そっちに帰着すると思いますけれどもそのときに、
1:12:41	それぞれどういう力がかかるとか船の姿勢であるとかそういうのも含めて、ちゃんと係留が成立してるってことについて説明できるように、検討してみたいと思います。
1:12:51	規制庁石田です。私からは以上です。
1:12:57	規制庁藤間ですけど、今回のヒアリングは何かいつもの対津波のヒアリングとは大分様相が異なってて、
1:13:06	まず、我々が質問したことに対して、実はこういうことやってるんですってよく回答されてますけど、
1:13:12	私はそれ聞いたらじゃあ、まとめ資料にちゃんと書いてくださいよっていうのが言いたいことですよね。要は書いてないことはあたかも何かなんかさもう当然のことになってる。これをちょっと説明として引き上げて、
1:13:23	まずいですね。ですので、次回、
1:13:27	そちらで、有識者とか含めて全部やってることがあるんだったら、それはパワーポイントではなくてA4縦ですよ。
1:13:34	これでちゃんと示していただけないですかね我々。
1:13:37	事実確認できないんですよ。わかりますかねまずそれ、よろしいですか。
1:13:44	ガイドに変えちょっと私の説明の方であれでしたけれども、今そのコンセプトっていうところに限ったような説明になってましたので、少しどういう検討してるのかってことも含めて、
1:13:54	整理した上で説明できるように準備します。
1:13:57	藤規制庁じゃないですあとちょっと、これまでの対津波のヒアリングと違って、今回我々の質問に対して、何かちょっと外れた回答或いは何か蛇足を図説明されてるような気がします。
1:14:09	ですのでこちら側から質問したものに対しては、端的にお答えください例えばイシダが、これこれについてちゃんと整理して説明してくださいって申し上げたことは、そのままそれだけで構いません。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:21	それ以降の例えばロープの健全性とかいらないうですよねそれは、資料全体として示すべきところであって、正直、ヒアリングの時間って、貴重なのであんまりちょっと無駄な、
1:14:32	ことはせずに、衛藤様はこちらが通ったことに対してきちっとそのまま回答してください。いつものためにヒアリング違いますよね。ちゃんとみたいな話。うん。ですので、ディベートの
1:14:45	やめて欲しい。一応事実分。
1:14:47	事実確認ができないから我々は説明を求めています。それを説明したくないのであれば、説明したくありませんと答えてくださいそれは、審査会合で議論すべき事項です。
1:14:59	それで、我々が疑問に思ってることで、ちゃんと説明が可能であって、それがきちんと何とかそちらの示すだ妥当性ですか。それでつなぐイノマタそれと、真摯にちゃんと整理すべきですよ。
1:15:12	対津波これまでヒアリングそういうふうに来てきたはずですけど、いきなり何か様相が変わって、これはちょっときちっと何か、私の目から見たら、何かあまり答えたくありませんというふうにしが見えなかったの、その点ちょっと注意してもらっていいですかね。
1:15:27	関連する、すいません私の説明の方とか、その辺注意して対応したいと思います。
1:16:15	はい。規制庁の谷口です。
1:16:17	ちょっと教えていただきたいんですけど、先ほど、例えばこれ、4ページ目のところ2、
1:16:26	状況の考察のところがあります。
1:16:29	ここの表現の中に、先行プラントも同傾向として想定されるっていう表現がされてるんですけど、
1:16:40	何ををもって先行プラントと同傾向と判断されてるのか。それで、燃料等の輸送線の緊急退避以外の対策を検討する上で考慮するって書いてあるんですけど、
1:16:53	何ををもって先行プラントちょっとOKこととして想定したされてるのか、ちょっと教えてください。
1:17:04	北海道電力高見でございます。今、先行プラントと同傾向というところではですね5ページのところにちょっと書いてございますけれども、各先行プラントさんでの岸壁近傍での最大流速をまとめてございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:18	各プラント先行プラントにおきましても、完璧と平行方向の最大流速が支配的であるというふうに記載がされています。こちらの傾向は、今回の泊におきましても、
1:17:29	同じように、完璧に平行な方向が4.3メートルとCITになっていきますので、そこを踏まえて、同傾向というふうにまとめていきます。以上です。結局さっきも話出てたんですけど、
1:17:41	要は、経理を外側でするってということが主体になった。泊の考え方の中で、これが他のプラントでも同じようなこと考えてるわけじゃなくて、
1:17:55	先ほど、話があったように、それは、追加でやってるような対応で主体じゃないっていう話の中で、
1:18:06	やっぱりこれが同じ傾向という形でか、同じ稽古として想定するって形ですとな。
1:18:17	流れてしまうのが非常に腑に落ちないところなので、やっぱり流況の考え方先行プラントとおんなじ。
1:18:26	ていう判断のところやっぱりもうちょっとゆるいような気がするんで、この辺はよく、やっぱり考え、考えていかないといけないんじゃないかと。
1:18:37	ところ、泊のプラントについては感じますけどいかがでしょうか。
1:18:41	うん。おっしゃる通りだと思ってます。我々やはり岸壁の上に津波がありますので、そこからはやはり、岸壁に対して直角に入る流れがありますので、
1:18:51	そこからやっぱり傾向が違うと思いますので、低い時には同じように平行に流れるんですけども高くなったときには、そこをちょっと正確にちゃんと確認いたします。はい。その辺きっちり書いてください。よろしくお願いします。以上です。
1:19:07	規制庁の江崎です。今年資料っていうか、今まで審査した中でいうと、やはり他サイトとこことは、一番最初から話してるように違うんですね。
1:19:18	もう突出して違う。
1:19:19	ただ他のところは参考にならないですよ。そこと一緒って言ったって、
1:19:23	土俵が違うから、状況が全く違うんで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:28	ここはここ、こういう説明したとしてこそと同じ、同じようにしていますと言ったとしても、何ら説明性が全くない。
1:19:37	以上。
1:19:46	それから、今のやつはわかりました。
1:19:58	規制庁熊谷です。
1:20:00	つまり4ページ目の提供の状況についてですけど
1:20:03	先ほど
1:20:05	お話ありましたけどいろんな流れがあるっていうような中でですね、この
1:20:11	住居考察の中で二つ目のポツのところでは、基本的には、港湾内で渦を巻くような流れが生じるっていうふうに記載されていて、
1:20:20	そういう時ももちろんあるんじゃないかとは思いますが、
1:20:26	その渦を巻くような流れがですね支配的になってますそれが、
1:20:30	最も流速が長かったりとか、平行な時は平行流れ長野時はそうになったりとか、
1:20:36	もしくは
1:20:38	いろんな膨張での、
1:20:40	破損状況もいろいろある中でここでは、
1:20:43	膨張で損傷なしとか、
1:20:45	北包丁で損傷の状況の図が記載されてますけども、
1:20:49	調停が両方損傷してる時等とかもですね。
1:20:54	あるかと思えますそういった時にも、
1:20:56	もちろん流れはあるかと思うんです必ずしも
1:21:00	フーズうまく流れが生じてそれが、その評価の中でですね。
1:21:06	重要な内容なのかどうかってのはちょっとこの文章で、状況、
1:21:10	影響考えられてるんですけども、どういった観点でそういった、
1:21:16	ものをですね、考えられていてそれをどういうふうに、
1:21:19	考慮してるのかっていうのが、ちょっとこの文章だけでははっきりわかりませんでしたのでそこら辺の、
1:21:24	どういうふうに整理されてるのかっていうのを、
1:21:27	説明していただければと思います。
1:21:30	北海道電力高木でございます。ご指摘の通りですね、すべてがこの宇津うまく減少というわけでもないことを私も承知して行いまして特徴的な傾向としまして、こういう図を巻くっていうところが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:41	見られたのでそこをちょっと整理として書かせていただいているところでございます。馬越の通り、実際にどういう流れ、最大の流れがどういう時に発生してというのをまた整理して、ちょっとご説明したいと思います。
1:21:55	はい。性状細かいですはい。
1:21:58	ちょっとここでは、基本的にはとかっていうふうな表現ぶりがちょっと気になったりもしましたので、そこら辺正確にですね、表現していただければと思います。
1:22:28	規制庁の江寄です。私からの4ページの右図に書いてある、
1:22:33	平行方向直行方向ということです。そっち方向から見てですね、多分5ページの表ってのがあるんだと思うんですね。
1:22:43	で、
1:22:44	これって、
1:22:48	フェイ空港直行方向に、
1:22:50	限定する。
1:22:52	必要があるのかなってというのがちょっとわかんなくて、少なくとも、
1:22:58	全方位の中で最大値、
1:23:01	見てもいいんじゃないかと思うんですけど。
1:23:06	なぜかっていうそうだと、全方位で見たときに、仇でもいいんですけど1分でも、
1:23:11	そういったことで考えた時にその係留索を損傷する可能性って、
1:23:16	ある方位で引っ張って、ヒアリ最大値が出てれば、そっち方向で厳しい経営層が厳しくなるわけですよ。
1:23:25	そういったことから考えたときに、齊田一井
1:23:29	ベクトルを、こんな方向を考えずに、最大値っていうことで、
1:23:33	考えなくていいんですかっていうことです。
1:23:36	例えば、直交方向の最大有職ってのは斜めに入ってるやつを全部含めて、直行方向の成分に分解しちゃって一番早いの見てるっていう、
1:23:46	出し方してます。
1:23:48	ごめんなさいその直方向で見たときに、ある方向一方コウだけで厳しくなった時にその
1:23:54	船の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:56	形態っていうか、ずっと1ですかね、傾きとか、平面的にそういったことも考えたときに、
1:24:02	ある。
1:24:03	一つの本のロープっていうかその家を検索ですね、カタギリする可能性とか、そういったことはないですかよく。
1:24:11	つり橋でも何でもそうだけど、
1:24:13	ああいうワイヤーっていうナカザキが一番危険なんで風邪増えたときとか、その辺切れてしまうっていう話でそうすると、
1:24:20	他にも、
1:24:22	地下中が移り変わってしまうんで消えたことによってそれによって、
1:24:27	吊橋落ちるとか、そういった現象ってあるんですよ。
1:24:30	そういったことを考えたときにそういうことになりえないかってのはちょっとわからないので教えてください。
1:24:35	もうちょっと整理いたしますけれども、今の考えを述べてよろしいでしょうか。
1:24:39	今の考えとしては、確か日本に行くときは船動いてくんですよ。ずっと動いていて結果的にはバランスのところまで日本でかかるので、そのときにかかる力が結局、
1:24:49	正面から受けるのはどうしても重圧面積でかいので、笛として押すキャラというのを強くなるんですよ。
1:24:55	そういう意味では、おっしゃる通り1本にかかる局面がないかというところとあると思ってます。すいませんだからねまず、
1:25:02	最大値という観点で行った時にまず破片が変わるかどうか。
1:25:07	確認してくださいってこと。
1:25:09	要求します。
1:25:11	我々、私としてはまずそれを確認してください。
1:25:14	デカそそういったものが、
1:25:16	出て、それが今やろうとしているものに対して、
1:25:21	その損傷モードってのは、先ほどからタダウチも、
1:25:25	イシタ入ってると思うんですけど、そういうどのような損傷モードが考えられて、
1:25:29	そうしたことによってどういうようなリスクがどうなのかと考えて、それを採用すべきか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:35	不採用にすべきか、そういうことまで考えて説明いただかないと、我々としてはその辺で理解できないし、は、最終的なね、適合性の判断ができないので、
1:25:46	審査の判断はできないので、それをちゃんときちんと説明していただきたいんです。
1:25:52	わかりました。
1:26:04	はい。規制庁の谷口です。
1:26:06	先ほど来話が出てるところではあるんですけど、やっぱりコメントとして集中してしまうところはこの4ページところ、5ページのところなんですね。
1:26:19	刷版先ほど来も、どういうふうな評価をしていくのかっていうところで、やっぱり疑問。
1:26:27	らしい。
1:26:28	その具体的な内容がまだまだ見えてない状況の中で、先ほども先行プラントの比較の話も出てましたけど、この書類の中で、非常に
1:26:40	何をターゲットにしてやろうとしてるのがやっぱり見えないんですね。で、この4ページ目と個別のところだけ見るだけでも、排煙のケースがですね、
1:26:55	Fだったり系だったりBだったり、それから、比較のところでは押し波の第1到達が早いとか、こういう表現をしてたり、
1:27:07	それから勝断層、FS点の断層の話が出てきたりとか、要は具体的なものの後、説明がないまま、マーケ結果をこうやって正誤プレートと比較しようとしてる、無理やりしようとしてる。
1:27:20	ような中で、やっぱり紙書類としても、何言わんとしてるのかよくわからない。特にこの4ページ目、5ページ目のところの概要の部分が、やっぱり、H a t c hみたいこっち見たりしてるので、
1:27:33	その辺の考え方をやっぱり統一しないと、この書類の作り方も変わってくると思うので、
1:27:39	そういう見直しをしてください。
1:27:43	金田です。承りました整理いたします。
1:27:46	お願いします。
1:27:50	規制庁熊谷です。
1:27:52	同じ5ページについてですけども、
1:27:55	ここで、箱書きの一つ目のポツのところ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:58	燃料等イセタオカ、
1:28:01	変化岸壁に乗り上げる可能性がある水を有する津波の到達時間が早くってというのが、先行プラントとの比較において、
1:28:10	泊の特徴であるというふうに記載されてるんですけど。
1:28:14	実際その
1:28:15	荷揚げ岸壁に乗り上げる可能性あるのある水ってのは、具体的に何メートルだったりするんですか。
1:28:24	はい。北海道電力高井でございます。えっとですね今岸壁高さ、5ページ目のところに書いてございますけどもTP3メーターというところが岸壁高さになってございます。
1:28:35	今、喫水面が大体5メートルほどございますので、水位としましては8メートルほど上がっていくと、岸壁を、船の下が乗り越えるということになってございます。以上です。
1:28:53	規制庁熊谷です。
1:28:56	その88メートルってというのがですねあるということなんですけども、
1:29:03	泊についてはその8メートルのところまで行く。
1:29:08	乗り上げる可能性のある水を有する津波ってというのが、
1:29:13	この
1:29:14	青イトウの水基準津波のところに書いてあるのが、まさにそうだとということで、
1:29:19	消火、
1:29:22	それに対応するものが各他のプラントでも記載されてるってことですか。
1:29:28	他のプラントでも
1:29:31	乗り上げる可能性のある水位が、
1:29:34	ある津波の
1:29:35	到達時間が早いってということで、どれとどれを比較しているのかがよくわからないんですけど、この表はですね、北海道電力高井でございます。こちらの5ページの表はですね、基準津波で最も早く到達するという観点で波を選定してございます。
1:29:50	その最も早く選定する津波か、
1:29:54	乗り上げるというところでちょっと整理をかけてございます。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:01	規制庁電力の志田です。こちらの表なんですけども、これ8月の、逃げますって言った時につけてた表に、今回必要そうなのをつけ足したってというような状況になっていて、
1:30:13	今さんざんばらコメントいただいているような、この評価に対してどういう津波を選んで、何を比較しないといけないのかっていう観点でまとめられたものにはなっていないというふうに考えておりますので、
1:30:25	こういう他社との比較ですとか、前回作ったものに無理やりはめていくじゃなくて、今回の観点、係留の観点で整理し直した表みたいのをここにに入れて、
1:30:37	アノを示すような形にしたいと思います。はい。
1:30:51	違います。
1:30:52	規制庁の若狭です。資料1の4ページ目の、
1:30:56	一等最初の④で、
1:31:00	泊発電所における基準津波の最大水位は15.68最大有職は、
1:31:07	清17.63って書いてあるんですけど、
1:31:13	2時、今月の14日のヒアリング種類Gでは、最大水位は5.96メートル。
1:31:21	剥げいい。
1:31:23	なんぼを損傷。
1:31:25	敷地、陸域5メートル沈下、最大流速は17.86、半円形、
1:31:33	防波堤ス損傷なし。
1:31:36	敷地前面海域2メートル地域地すべり地形を設計に用いると書いてあってここでは値が違うんですがこれ、基準津波の値月。
1:31:47	書いてあるんですけど、これと、
1:31:51	係留のやつは違うんですか。
1:31:54	違う理由だったらそういう理由を教えてください。北海道電力の志田です。一応持ち帰って、数値の方をちゃんとチェックして、直すところは直す、何か理由があるだったら書き換える。それに対応します。
1:32:07	まず、防潮堤との整合性と、次はもらえば独自な話があると思うんですけど、まず防潮堤の整合性をとってください。
1:32:16	はい。
1:32:17	次にですね、
1:32:20	27ページなんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:30	27 ページのこの図つけてるんですけど、
1:32:34	これって、
1:32:35	5 ページの、
1:32:37	※7 で、
1:32:38	基準波源時十分波源 20 ケースの燃料輸送線の係留地点における最大流速、4.3 メーター。
1:32:49	5 万平行方向 1.4 とか、これと対応してないんです。なんでこの波源 B を使ってるのか。
1:32:57	これが波源として綺麗だからですか。ちょっと、何でこうこれをつけたのか、理由がよくわかんないんですよ。いつだったら、最大流速とか何か作るはずなのに、
1:33:08	ファーマー聞きたいだけなんですけど、なんでこれつけたんですかね。
1:33:13	北海道にお互いございます。こちらの 27 ページの表ですはずですけども、こちらとの、さっき最初に下の方で説明しましたけども流況の説明用にちょっと、
1:33:25	1 例として持ち出したもので最大流速の値であったりとかそういうことをご説明するためにちょっとつけたものではございませんというところでございます。
1:33:33	いや物だったら最大とか細則を付けますよね。いや、何がこれが一番綺麗に見えやすいからつけたってそれ、それだけでしょうか。
1:33:42	たまたまこれが、説明するしやすいからつけたんだったらそれでも構いませんけど、
1:33:51	丸井助教。
1:34:02	はい。北海道電力でございます。まとめ資料の際には 20% 全部載せて、
1:34:07	お示したいと思います。
1:34:11	お願いします。あとですね、5 ページの、
1:34:16	ところで、
1:34:17	泊新居の早く到達する波で会議断層フェイス 10 断層を選定してるんですこれ。
1:34:25	歩我々で言う波源の断層、ハケは K とは違うが、津波のやつは違いますよね。
1:34:35	一種は A F ではないですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:38	もしあのおんなじだったら同じと言ってくださいこの海域断層。
1:34:42	ズーフエフフェス中については、浜田側でやってるかもしれないんですけど、プラント側これ知らないですよ。知らない波をお付けられてもわからないと思うんで。
1:34:55	メール店の説明について、
1:34:57	方の方お願いします。
1:35:07	ちょっとあれなんですけど北電志田です
1:35:10	この表をとりあえず消すんで、今回そのコメン等をいただくような内容にはここ今度の資料はならないっていうところ。
1:35:18	あとここでイマダしてるのはあくまでその輸送線逃げるっていう時に、基準津波の候補の中からも含めてちょっと早いやつをちょっと選定してみようかっていうので出してきた。
1:35:30	並みの代表になっているので確かにおっしゃられてるような、代表点というかプラント側の方で説明されたものではないのかもしれないです。ただ、
1:35:41	今度これ消して出すんで、大丈夫です。
1:35:45	長南カワセです。いや、
1:35:47	単に消されると言われるとすごい不安があるんですけど、これが問題だったら決してまずいんじゃないですか。
1:35:53	これが何か決定要因になるんだったらまずいと思うんですね。藤尾説明すべきだと思うんですけどいかがでしょうか。それは、北電社でそれは先ほど江崎さんが言ってるような内容だというふうに、
1:36:06	同じような内容だというふうに理解していて、
1:36:09	基準津波の候補の以外の中からも含めて、
1:36:13	見てみて全部入っていることを基準津波でいえるのかどうかとかそういう妥当性っていうのを説明しなさいっておっしゃられたのと全く同じコメントを今受けたのかなという理解なんですけど。
1:36:24	もしそうなのだ、であればこの波が対象なのであれば、そういった評価をしないとイケないっていう認識は今日持っておりますので、単純に消すとかではなくて、ちゃんと、こいつがいるのか言われないのかっていうのを、
1:36:38	整理した上でケース計算内容を判断します。ただ、これらで理由としては今んところ、すごい低い波なんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:46	到達するのが早かったという理由でこれを載せているっていう経緯は以上になります。
1:36:53	正確に説明してもらえばわかるんでタダ結と言われると、大丈夫かなと思うんで、そこら辺の言い方はできればご注意ください。以上です。
1:37:15	規制庁の江崎です。私からですね7ページ8ページ。
1:37:19	いうふうにですね
1:37:22	出ている。
1:37:25	係留をどう、どれを選定するかという話の中で、
1:37:29	行って最終的に溪流さんが選ばれてるのは、交渉に書いてあるんですけど、
1:37:35	トガシで溪流②、
1:37:37	形、
1:37:38	理由からすると、いわゆるスケジュールとか工程間での影響以外は特に大きな問題ないんですよ。
1:37:45	そういうクドウからすると候補として交付溪流さんも同様に、
1:37:50	どのような形を実現性があるかっていう検討は、
1:37:54	するべきではないかなと私は思っているんですけど。
1:38:00	また経理丸さんがまだ、いや、今、これからもいろいろ話あると思うんですけど、なかなか今まで審査実績あるものではないので、それから考えると、
1:38:10	場合によっては②と③の併用案だってあるでしょうし、今後ですね。
1:38:16	そういったことも有効でしょうし、
1:38:19	溪流②の前の説明では、何か今回工程間だけだったけど人命がね。
1:38:25	という話あったんですけどそれだって、経理部が前提であれば、成因は、
1:38:30	陸上対比って考えて可能であれば、
1:38:35	その中にいなくたっていいわけですよそしたらそれもカバーできちゃうし、
1:38:39	はっきり言って丸さんをコウ、
1:38:41	こういう理由でず、全然駄目ですよっていう。
1:38:46	ことにはななくて、単なる肯定感という話だけだと、このままいくと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:51	もう確実にできてリスクが一番低い等使ったら、アノ 02 ですって話になったら悪いので生き残っちゃう可能性がありますよね。
1:38:59	なので、
1:39:02	もう少しなぜこれを却下してるのかよくわからなくて、そうしたことをしっかりと、時間的に間に合わないならば今後検討しますと言っても結構だと思っんですけど。
1:39:14	この2月の1日に、大体12月の初旬にある。
1:39:19	審査会合ですか、そうしたものに対していつ、
1:39:24	検討する
1:39:25	それに間に合わないっていう話であるのか、それともまだ、
1:39:29	検討の余地があるのか検討の余地がないのか全然、ここでは理解できないので、その辺をちょっと説明いただけますでしょうか。
1:39:35	理由について、やはり成立しないのであれば成立しないことをしっかり書いて、わかるように整理をかけたいと思います。
1:39:44	規制庁の江崎です。
1:39:46	溪流②ってのは、今現実的に、全く、
1:39:52	以前紹介の方で説明があった以外は、まだ検討は進んでないと考えた方がいいでしょうか。
1:40:00	構造物する実現性ですかね、それがかなり難しいというふうに考えてます。あと当然皆頭の方にフルヤツ
1:40:09	んでそこに物を積んだりとかしますんでそういうやつ障害になるんじゃないとか、深井ソウノ検討までやってませんけれども、少しやはり実際の作業とかの、こういう干渉とか考えると、
1:40:20	係留の2ってのは非常に厳しいかなというふうに考えておりますその辺少し整理して、わかるような形で、資料のほうに記載したいと思います。
1:40:33	規制庁熊谷です。
1:40:36	6ページのところで、
1:40:38	上の方で検討策それぞれ1から6まで、
1:40:42	記載いただいて、それについて検討していただけてるんですけども、
1:40:47	対応策ってのはこの、やはり6件だけだったんでしょうか。
1:40:51	だからそれ以外にもそもそも検討した内容ってのがあったりとかして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:56	取捨選択された上で黒くなってるんでしょうか。そこら辺はどういうふうに検討されてるんでしょうか。
1:41:10	北海道電力の志田です。衛藤。この6件の中にもですね例えば溪流③の中でもう海域ではなくて、別の取水口の方の岸壁から取るとか、防波堤からコウとるですとか、
1:41:24	今江崎さんからコメントあった②でしたら、どういう杭を立てればいいのかとか、作業干渉がどうのこうのとか、複数いろいろ検討したっていう内容はあるんですけども、
1:41:35	やはり資料に記載すべきレベルに達してないというか、そこまで、いやこれやってもあんまり意味がないよねっていうところが多々ありまして、現状は成立そうなもの。
1:41:47	の中で評価をしてというような形をとっているのが実情です。以上です。
1:41:56	規制庁、熊谷です。
1:41:58	ある程度成立そうなものについて取捨選択した結果6件だったと。
1:42:05	その中で何か、
1:42:07	前ちょっとお話聞いた中で何か、荷揚げ場の場所を変更することとかも検討されたりもしたみたいですけども、
1:42:14	何か、
1:42:15	それは、
1:42:17	何でしたっけね。
1:42:20	構内の
1:42:22	選挙が変わってしまうとかっていうこともあって除外されたとかっていう話も、
1:42:27	お聞きしたんですが、
1:42:30	す。そういったものってのは結局、
1:42:34	今回の評価項目でいうところのこの4番の、
1:42:40	基準津波解析への影響とか、ノロフタミカセ工程の影響とかっていうところで落とされたのかなというふうに思ったんですね。
1:42:48	そういったもので一応、何か、
1:42:51	網羅的に抽出したんで、であればどういったものを抽出されてっていうのを抽出したものは一応全部挙げてもらった方がいいのかなとも思ったんですが、そこら辺はいかがでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:09	電力のタカハシですけれども、以前それを問われた時にそういうのを検討してないのかっていうことで、いやそれはもう差はなから、基準津波とかに影響するんで、検討してませんっていうお答えを。
1:43:21	させていただいたと思います。
1:43:28	でもそもそも
1:43:29	規制庁クマガイです。検討されてないような状況で検討したのはこの
1:43:34	6件で、この6件抽出したのはある程度の、
1:43:39	なんですかその成立性も考慮した上、
1:43:42	記載されてると。
1:43:52	まあそこら辺の検討の結果は何かまとめ資料とかでもいいのですが、どういった形で検討されたのかってのは、ちょっと記載していただいた方が良いのかなというふうに思いましたのでよろしくをお願いします。
1:44:03	そうですね検討プロセスをどういうふうに検討したのかっていう検討経緯をですね。
1:44:09	わかるようにですね明示していただければと思います。
1:44:15	電力の押田です。当検討プロセスの方がですねわかるような資料というのを作成して、添付するようにいたします。
1:44:25	はい。よろしくをお願いします。ちょっと続いて、
1:44:29	今度8ページについてなんですけども、
1:44:32	ここでは影響評価項目として、
1:44:35	12315
1:44:37	示されそれぞれ、
1:44:39	ありなしを評価されてるんですけども、まず、この影響評価項目の一番において、
1:44:46	ちょっとこれは私の理解がよく追いついてないんで、
1:44:51	説明いただければと思うんですけど、値上げ岸壁への乗り上げ。
1:44:55	についてですね。
1:44:58	溪流、
1:45:01	123のところ、
1:45:03	記載されてたりするんですが、この荷揚げ岸壁への乗り上げていうのは、この取水性とか、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:10	津波防護施設にどのような影響があるっていうふうに考えられて、何かこう記載されてるんでしょうか。何か乗り上げた場合は、
1:45:17	漂流物化するっていうふうに評価されてるんで、
1:45:20	北海道電力の志田です資料の後半では及びというふうな並びで考えて書いてるんですけど、基本的には、乗り上げてしまうイコール漂流物化する、なので取水性とか、
1:45:33	防潮てに影響あるかもしれませんっていうようなことで今の利上げを防止するとか、乗り上げてしまうため、成立しないとか、そういうヤノを記載しております。
1:45:48	はい、わかりました何かここの記載だけだとですね、何か乗り上げと。
1:45:53	漂流。
1:45:56	漂流漂流物化とか漂流。
1:46:00	帽子とかの売り上げというか、いつもの漂流とかですね別もののような形で、
1:46:07	記載されてるようにも見えますので、
1:46:09	そこら辺はどのように評価されてるのかっていうのは、
1:46:13	きちんと伝わるようにですね、整理をしていただければと思います。
1:46:18	あと続けて、
1:46:20	この影響評価項目 2、2 番についてなんですけども、これは
1:46:27	燃料の、
1:46:28	輸送経路への影響ということで評価されてるんですが、
1:46:33	この輸送影響が、
1:46:36	あるものについては、
1:46:40	かけるしか 9 セキュリティーのリスクが上昇するから、
1:46:44	影響ありますということで、したいようになってるんですけど。
1:46:49	これ、
1:46:50	燃料輸送って
1:46:52	他のサイトでは、先行サイトっていうか別のサイトではやってるようなサイトもある中で、
1:46:58	泊では、
1:47:00	どうしてできないのかと、
1:47:04	確かにその

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:06	アノオチアイ発電所の中でやるリスクと、発電所外であるリスクとそれぞれ別のリスクがあるんだと思いますけども、
1:47:15	外でやることにおいて、
1:47:18	どうしてトモダと不採用になるのかと。
1:47:20	というのがですね。
1:47:24	ある意味、できる、できないってのは、ちょっとこの文章だけだと。
1:47:28	よくわかりませんので、書ける内容書けない内容もあるのかもしれないんですけど、
1:47:33	ちょっとこれだけだとはっきりよくわからないので、もう少し何かしらですね、どういうふうに検討されて
1:47:39	除外されてるのかっていうのは、
1:47:41	説明いただければなと思う。
1:47:48	北海道電力の志田ですちょっとマイクオフで社内で確認しますので少々お待ちください。
1:52:21	北海道電力の志田です。と記載について確認して修文できるところは修文して出そうと思います。
1:52:29	はい。規制庁熊谷です。はい。
1:52:31	そこはご検討いただければと思います。です。
1:52:35	そういう意味で後々、今回、
1:52:37	採用採用する項目と、あと優劣を、
1:52:42	決める項目っていうのが、それぞれ、
1:52:44	記載されてますけど、その分け方についてもですねどういう考え方で、
1:52:50	やったのかというのも、
1:52:53	ちょっと御説明一緒にいただければなと思いますので、その観点でも、
1:52:58	お願いいたします。
1:53:02	北海道電力です。はい、わかりました。そこもわかるように記載を追加します。
1:53:11	あと、規制庁熊谷です。もう1点ですけども、もう2点、すみません
1:53:18	これさ、3番の表項目3で、退避作業の、
1:53:22	不確かさっていうのがあるんですけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:24	これ、どこまで評価すべきなのかもあるんですけど、これ、溪流①から③の中でも、この軽量係留作業をしてる。
1:53:34	時間の中で、
1:53:36	会議することってというのは、考えたりしないのかなあとと思ってまして、だから、係留する時間ってそれぞれどれくらいかかったりするの結構あつ短時間でできるのかある程度時間がかかるのか、そこら辺はどうなんでしょうか。
1:53:49	今船の係留については、進化四つある上にVが浮いていて、その部位のところろにロープを持って行って、あとはもうシャックルみたいなので、ボンとコウ4. オカし一遍に締めることを考えてますので、
1:54:01	係留時間として非常に短時間でできると思ってます。当然それやっぱ経由する直前ぐらいで津波警報出たらそのまま逃げてきますし、
1:54:09	図のコウやった後に来たときにはその上で作業してる人がいますので、その人を当然退避させていかなきゃいけないと違って異なりますそういうのが、検討の中に入っていくと思ってます。以上です。
1:54:21	規制庁熊谷です。
1:54:22	何かしら一応影響検討されて、
1:54:27	影響についてはそれほど問題ないという話。
1:54:30	ではあったので、そこら辺についてもですね、
1:54:34	わかるような形で表現していただければと思います。
1:54:40	北海道電力の志田です。今いただいたコメントはですね、次回の作業員の対比のところ合わせて全部説明しようかというふうに考えてましたので、
1:54:51	その時で時系列押すとか図とかを使ってちょっとわかりやすくご説明しようというふうに考えてます。
1:54:58	はい。規制庁熊谷ですわかりました。ちょっとここだとその係留における対策であるためっていうふうな理由になってるんで、何か全く形検討されてないのかなというふうにも読み取れてしまったので、
1:55:10	次回、されるということで、そこら辺についても承知しました。
1:55:15	あとここでもう1点ですけど第1項目、第1候補として、計算、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:22	示されたりってことで、先ほど瀬崎の方からもありましたけど、これ、
1:55:28	列列 0102 とかってありますけど、
1:55:32	それらについては、
1:55:33	不採用っていうわけじゃないかと思うんですが、
1:55:37	そこら辺の第 2 クォーターに第 3 工務部なりの検討とかっていうのも、
1:55:42	一応今進めてらっしゃったりするんですか。
1:55:50	北海道電力の志田です実情でいきますと、今溪流③の検討というところをメインにやっていて、他の部分についてはあくまでアイデアベースぐらいで止まっています、
1:56:03	どうやったら具体的に成立するかとか、そういったところまでは検討できていないっていうところになります。
1:56:11	規制庁熊谷です。
1:56:13	やはりその、溪流さんが第 1 候補だということではあるんですけども、成立性するのかどうかってのまだこれからさらに検討されていくかと思うんですが、
1:56:23	必ずしも、
1:56:25	定例さんが確実にできるということでもないので、それだけに限らずですねワダ委員、第 3 の矢みたいなものもですね、ご検討については、し続けていただいたら良いかなというふうに思っていますので、そこら辺も、
1:56:39	ご検討いただければと思います。
1:56:44	北海道の兼田です。ちょっといいアイデアが出るかどうかかわからないですけども、検討の方はしていきたいと思います。
1:56:54	はい。
1:56:55	規制庁の谷口です。
1:56:58	今の 7 ページ目のフローの話になります。
1:57:02	7 ページ目のところの結果を 8 ページ目のところに書いてあるんですけど、
1:57:08	このフローの流れでいうと、
1:57:11	採用不要の評価をして、
1:57:14	不要に不採用になったものについては、
1:57:18	もう評価の対象にならないようなフローになってるんですけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:57:23	8 ページ 7 目のところには、バターン不採用になったものも評価して記載してるんですけど、
1:57:31	これ一船体そして不フローとして、
1:57:34	最初カラー、3 番にするために作ったフローみたいになってるんですけど、この辺結局、
1:57:42	どうやってこう採用にしたのか、っていう形がやっぱり、
1:57:46	よくわからないフローになってるので、
1:57:49	8 ページ目のところに評価した結果っていうのは、結局不採用になっても評価してるような形になってるんですけど。
1:57:56	評価をしたんですか。
1:58:05	ダイゴ電力の志田です。
1:58:07	8 ページのところに書いてあるのは一応参考程度の評価をしましたっていうので、ここで終わりって言った土木で発注して評価を記載したような状況になっているのが実情です。
1:58:20	もしわかりにくいとか、ここも切ったんだから、必要ないよねっていうところもあったのでもしそういう意見であれば、もう消す方向でいいかなというふうに思っております。
1:58:32	結局さ、さっきも話が出てたんですけど、
1:58:35	軽油、NO1 とか 2 とか、
1:58:39	パッケージについてはわかりました漂流化させないっていうのが最初だから、
1:58:44	2 番目も、これもう不採用で核セキュリティで、
1:58:48	そういう行くっていうでやめるんだ、これでおしまいじゃないかなと。
1:58:53	思ったので、
1:58:54	それ以外のところは基本的に全部 3 シンボも含めて、評価をしてるって形だと思うんで、その辺せっかくやってるんだと思いますけど。
1:59:06	この網掛けしたところをあえて書くのがちょっと、
1:59:11	やっぱり、
1:59:12	フローと合っていないかなと思うので、ちょっとその辺は明確にしておいてください。
1:59:19	北海道電力の志田です。誤解を招くような記載になっているというような状況だと思いますので、評価結果が出た後のグレーハッ

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	チの部分については場合にするとか斜線にするとか、ちょっとそういったふうにシンプルな形で、
1:59:32	まとめ直そうと思います。そうですね。ちょっとそういう見直しをしていただければと思います。私の方、
1:59:49	なんか、ベッショニシダサンゴでしょ。
1:59:57	あ、
1:59:58	よろしいですかね規制庁イシダですけれども。
2:00:02	ですね。はい。ちょっと、
2:00:06	今出井の質問と重複することになるんですけれども、
2:00:11	係留の3を第1候補としてるんですけれども、
2:00:16	まだ1と2が完全にNGになったということではないのかなというふうに理解をしているという話と、
2:00:23	それとですね、
2:00:25	特にですね、
2:00:27	溪流の仁田さんっていうのは、何かサノ第一位と考えつつもですね。
2:00:33	3の少し、
2:00:36	弱点といいますかですね、弱いようなところを、箕輪その柵のようなものと、ようするというか、ハイブリッドみたいな形で、
2:00:47	対応していくっていうふうな可能性もあるのかなというふうにちょっと思ったりしてるんですけれども。
2:00:52	要はそういったような可能性という意味で、要するに組み合わせというような意味でですね、②あたりがまだ完全に採用というふうに決めきっていないというような、
2:01:05	理解をしていってもよろしいでしょうかその辺をどういうふうなお考えでしょうか。
2:01:10	北海道電力の志田です。今石田さんおっしゃった通りですね丸井については、完全にこれ不採用にできるものというふうには考えておりませんで、
2:01:20	ハイブリッドにするとかそういうのも一つの案としてあるかなというふうに思っておりますので、今、不採用ではなくて、優劣の評価の方で順位付けをしているというような状況になってます。
2:01:33	溪流①の方については今ここで記載している通りですね、岸壁側から取るだけで係留策を強くするとかそういった対応だけでは漂流物化防ぐのは困難じゃないかなというふうに評価していて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:48	ここについては優劣ではなくて採用不採用の採用で落とそうかなというふうな考えになってございます。
2:01:56	規制庁西尾です。了解いたしました。じゃあ、ちょっと少なくとも、
2:02:02	についてのさんとの併用という話も含めてですね、その辺は継続検討していただいて、また追ってご説明いただけるというふうに理解いたしました。
2:02:14	はい。
2:02:17	回答であります。以上です。北海道電力の志田です。こういった形の対策になるかというところで、パッと回答はできないんですけども、いろんな方向から検討を進めたいと思います。
2:02:30	規制庁よろしく願いいたします。10 ページなんですけどね。
2:02:35	そこで一番、何だ溪流3の一番下のポチですか。
2:02:41	進化を、2ヶ所、荷揚岸壁の方の値に進化を2ヶ所は、
2:02:48	荷揚岸壁を補強してそこに入れてやるんだと、いうのが書かれていますよね。そういう案も検討しますということになってるんですよね。これをちょっと、
2:02:59	見さしていただいたときに、やっぱりこれ、
2:03:02	19 ページ、9 ところ溪流さんのイメージがコウ。
2:03:08	出てるんだと思うんですよね。そうすると、
2:03:12	荷揚岸壁のところにも新川2ヶ所売っていてそれでタグボート使って寄せてやると接岸さしてるっていうんでやっぱり手間が多いんで、
2:03:22	荷揚岸壁の方にし、何だ補強してやってね、係留ん柱作ってやってやればいいのかっていうふうに思われてるって理解したんですよ。
2:03:33	それを、この理解は正しいですか。
2:03:36	とで、実はその軽油岸壁の例えば補強して、そこからロープを下げるとしても、やはりタグボートで押すっていう作業はどうしても発生すると思いますね。
2:03:49	ただ違うのは海野作業が不2ヶ所になって、陸側での作業が2ヶ所になるので、退避であるとか、そういうのを考えたときには、少し言いなことになる可能性があるんだと思ってて、
2:04:01	そういうことも検討することは考えようかなと思ってます。
2:04:06	今ね、ちょっとお話を伺ったと思ったのは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:04:10	北電の方で意図しているのは、
2:04:13	1と3のハイブリッドを考えられてるのかなと思ったんですけど、そうではないですか。
2:04:20	そういうふうには考えてなくて、赤間沖出し溪流と言って、全部その海の中に置かなくても、要は海側からコウを押さえるのは2ヶ所で、陸側の方からも押さえて、船が
2:04:33	目的は全く一緒なんですけども、沖に出ていかない。沖アノ、陸に上がらないという意味では、この4ヶ所全部海の中でもいいですし、海側に近いところに箇所は、陸側からでも可能かなというふうに考えてただその場合には、
2:04:48	岸壁補強するであるとかそういうのが必要になるかなと思ってます。規制庁の三浦ですけど、今おっしゃられてるのは、結局、結局係留位置っていうのと、あと海側の、
2:05:02	進化の肉、2ヶ所やるっていうのハイブリッドを考えていくっていうことを言われるんですよね。
2:05:10	違う。北海道電力の志田です。衛藤。
2:05:13	基本的には、その考えになってるんですけど、衛藤、今通常の係留索とろう面形成期っていうんですかね、あそこから取ってくるのではなくて、
2:05:24	遠巻きから取るっていうところで、1と3のハイブリッドなんですけど、ちょっと1と違うっていうわかりにくいかもしれないんですけど、ちょっとそういうような状況になってます。
2:05:35	ただ、ちょっと気になったのがね、少しこれからまだご検討されてそういう案も出てくるということを多分暗にをされてるんだろうと思うんだけど、
2:05:45	そのときに、係留位置をぱっとこれ、
2:05:49	不採用ですぐしてるでしょ。
2:05:52	ちょっと違うんだって話もあるけども、これ全体のストーリーがねもしもそういうハイブリッドを使うと全く変わると思うんですよ。
2:06:01	一応、そのまま出すと、海側から引っ張ってないんで、絶対に乗り上げてしまうっていう評価になるんで今NGっていうふうに落とし込んであるんですけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:06:11	今回のその岸壁から取ろうとしてるのは、岸壁からも取るし、海からも取るんで、どっちにも海側にも行こうとしないし、陸側にも乗り上げないというような形のものに、
2:06:24	なるっていうふうに考えているのもしこれを採用するんであれば、今三浦さんおっしゃってたようなところがわかるようにですね、図でこうちょっとこっちとか、そういうような、お示し方をして評価を見直すとか、そういうのが必要になってくるかなと思いました。実際に、
2:06:42	あれですよ。岸壁から取るんだと耐震補強をうまくできるのかとか、後工程の問題とかも出てくるっていうことでそれをご検討された上でハイブリッド取るか取らないかってことを今後考えていくんだらうと思うんですけど。
2:06:53	そうなったときには、逆にハイブリット時先ほど言ってたように、ちょっと全体のね、流れのストーリーがまたわかりにくくなるので、
2:07:01	多分フローチャートとか選択基準なんかを全部見直さなきゃいけないですよ。
2:07:06	そういうことを踏まえて、ご検討ください。どちらかという、今言われてるのが一つの案かなというふうに私は思ってますんで、よろしくお願いします。
2:07:17	目黒志田です。はい、わかりましたありがとうございます。
2:07:23	はい。規制庁藤原ですちょっとヒアリング時間、今2時間ぐらい経ちましたので十分ほど休憩したいと思います。
2:07:36	規制庁藤原ですねヒアリング再開したいと思います。はい。
2:07:44	規制庁の江寄です。ですね、11ページを開いていただいて、この11ページ見たときに、今、一つ思ったのが、まずね、
2:07:55	そもそも論で、
2:07:57	多分心買って、世の中用で使われた木、
2:08:01	ケイセキってか実績はどうもあり得るそうだなってというのは、インターネットで調査すれば少しわかるんですけど、それ以外のものを含めて、
2:08:10	例えばね、センター移動が9ロープだとか、沖出し検査これほどこでもありそうな感じもするんだけど、
2:08:16	宇都新川ですねこの三つを組み合わせるとハイブリッド組み合わせてますよね。この三つの中で要素として、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:08:23	一般産業施設として、この適用実績ってあるんですかって特に何かこの同をどう槓ロープ、
2:08:31	キック検索してもわからないので、これ、どこまでが、北電と考えてるオリジナルなのか。
2:08:39	それともすべて一般産業施設としての適用実績があるものなのか、これちょっと教えてもらえますか。
2:08:46	北海道の金田です。新川世の中に存在しますね。なんで経由ループってのは別に珍しい道場広場やっぱりないと思います。我々がわかってる範囲ではないと思ってます。
2:08:56	規制庁の矢崎です。その上でですね、この三つ。
2:09:00	含めてですね、一般産業施設としてどのような適用実績があるのか。
2:09:06	ていうのを、
2:09:07	ちょっと整理していただいた上で、
2:09:10	使われてる状況とかそういったものも含めていったときに、この隣、
2:09:16	発電所の適用性です。津波に対応させてるんですよ。
2:09:20	そうした時にそれを適用するのはどういったことで、そういったことが適用できると考えているのか、その辺をちょっと説明を整理した上で、説明いただけますか今日は資料はないでしょうか。
2:09:33	はい。金田です。わかりました。今先ほど申し上げた移動満期ロープは多分今回初めてだと思うんですよ。なのでこれ組み合わせたときに、どう記録として要求される機能であるとか、それがこここういうで整理するとかっていうのをちょっと整理した上で、ご説明したいと思います。
2:09:56	はい。規制庁藤原です。24 ページをちょっと開いていただいでですね。
2:10:04	これ、鳥栖さつき今日の倉内とかも話があったんですけども、この石油会社国際海事評議会、
2:10:15	こいつのう資料用いてこの算出式を使うって書かれてて、
2:10:20	ちょっとお伺いしたいのはこれを適用すれば今後多分説明いただけるんだと思うんですけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:10:26	これは事実確認として、要は泊の、つまり都市、隣のツツミに対する適用性ですかね、できる範囲内であるのか、例えば、結構船舶の
2:10:37	近傍にその岸壁があるような複雑な状況まとまり、これかなりとしてなんか、そんな状況ですね流況流向流速ですか。
2:10:46	一方で
2:10:48	石油会社会議国際海事評議会の資料というのは、こういった岸壁に停泊しているものも対象、津名ミイも、
2:10:56	対象としてるかっていうのちょっとわからないですけどその二つ、これ、どんな状況なものかちょっと説明いただけますか。
2:11:03	北海道電力丹下でございます。まずこの越智布野式ですけども、いわゆる大きい、非常に大きい数万トンぐらいのタンカーからですね、そういうものに対してもこういう岸壁に係留するための方法として、
2:11:18	この式、そして、この荷重を用いて、どういう係留策であったり、係留中であつたり、そういうのを設計し、しなさいっていうそういう基準になってございますので、岸壁に計上されている。
2:11:31	それに対して適用することはできると思っております。
2:11:36	津波に関してちょっと確認してちょっとうご説明させていただきます。岸壁に停留してる船に対しての適用実績はもう、書いてあるので、問題ないと思っております。
2:11:48	ほんなら、
2:11:49	購買、
2:11:56	ハロー、大きいところ、影響、
2:11:59	そういう、
2:12:02	シモノ資金、松風の文献に北海道電力だけでございますけれども、この種目の文献に書いてあるのは、一般港湾のところに、岸壁に係留されているような船舶。
2:12:14	を対象に設定
2:12:18	基準、基準として規定がされてございます。
2:12:24	規制庁藤原です。そしたらそのあたりですねその適用古いどのような状況を、このOCFがえ等を適用範囲としてやっているのかそれに対してタモリがどういう状況かちょっとまた整理を、
2:12:36	いただけるようお願いいたします。
2:12:43	燃料体でございますこちら市販されてる文献になってございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:12:49	資料です。
2:12:53	チラシ。
2:12:56	これを、
2:12:57	そうです。
2:13:00	適用化する。
2:13:03	はい。
2:13:06	今のお話を整理ください、あと、これ、どう記録もさっき何か違った話がありましたけど、これは特にこのおしも府にはないと。
2:13:16	ということですかね。
2:13:18	北海道電力谷でございます。ご指摘の通りで、
2:13:21	保証部の適用になるのは、いわゆる船舶の木曾といいますか、そういうところに、係留索で固定するというような適用が、をベースとした式になってございます。
2:13:34	はい。わかりました。じゃあその同記録についてちょっと細かく話を聞いてみたいと思います、私が気にしてのこの同記録っていうのが、どんなメカニズムで、
2:13:46	あとロープを、一体この挙動としてやれるのかというものに関してです。12ページをちょっと見てください。
2:13:57	で、12ページのこの押し波時という、
2:14:01	図を見た時にですね、ローマ記録っていうのは本当にセンターぐるりと一周間いて、
2:14:10	接着ふやしてなさそうですかね、多分何か本当に巻いてるだけっぽい感じがあって、
2:14:18	その時にこの下の方から何か斜め下から、
2:14:22	ですかねこれ引っ張り力さえたとしてもこれを、
2:14:25	フジカワコウズリ落ちることは、
2:14:28	ないんでしょうか。なんか、パッと見て何かすごいナカつって滑りそうな気がして、
2:14:34	この辺、どんなメカニズムです。はい。北海道電力兼田です。これ今、ロープ自体を上からコウ鶴線、この船の上からですね、釣っとくっていうことを考えるか。
2:14:47	もしくはその脱落防止用に船のその船尾のところに構台みたいのをつけてロープをコウ野瀬てしまうとか、そういうことを考えてその脱落防止の対策は打とうというふうに考えてます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:15:06	船の、まずあることですよ、船の船尾がですね、これ船費、ロープ引っ張ったときに船と密着してる部分と、少しロープが離れる部分が出てきます密着してる部分とこで言えば、
2:15:20	船尾のところについては、密着してそこから、またさらに、江崎さんおっしゃる通り、ずっと落ちちゃう、抜けちゃうんですね。それを受けないように、後ろに構台をつけてやってロープ載せとくっていう方法も今改造で考えるか。
2:15:35	はい。
2:15:44	北海道電力金田です。まず先週側から説明します船首側でこれ構造的に下に落ちないんですね出っ張ってますんで、鼻がついてますので、
2:15:52	整備側の方についてはこのままだと確かにおっしゃる通り抜けてしまいますので、この線右側の方を、センターの上の方から、ロープをコウつる。
2:16:02	タテタテにスロープをつけて、下に抜けないようにするっていう方法もありますし、あとは清宮側の方に溶接でもうそもそも受ける台をつけて、構造強度上もつようなものをつけるっていう方法もあると思ってまして。
2:16:15	これについては、今後、検討をしっかりと深めていこうと思ってまして、まずはかかる力がどれぐらいかっていうことをしっかり押さえてそれに耐えられるような、強度のものをつけていくというふうに考えています。以上です。
2:16:44	もちろんミウラですけど、今のちょっと関連して、
2:16:47	これ、同牧を使わずに直接、
2:16:50	船の方にコウかけるってのは無理なんですか。
2:16:54	いろいろ考えたんですけども、今回発生する張力というのが、普通の係留ですと高高ロープの強度 10 t 程度のものなんですよ ね。
2:17:04	船の偽装の強度を見ましてもサカタアカシえて 25 トンぐらいで考えてますけれども、今回やっぱり 100 t ぐらいのオーダーの力かかると思いますので、やはりその船全体で 1 回こっから受けて、
2:17:16	そのロープに係留策をつけるっていうやり方が、多分、誠実であるんだろうなというふうに考えています。
2:17:25	規制庁三浦です船体を補強して、直接付けるっていうのはやっぱり無理なんですけど、やはり船の厚さ、厚さというか船の航行は

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	七つありますんでそこに押して、そこだけ引っ張ることになりますので、
2:17:39	そこで100トン共同受けるっていうよりはやはり、船体全体としての曲げとか、
2:17:44	強度を受けるって形にしないと、
2:17:48	そういう船を設計すれば別かもしれませんが、今ある船でそれをやろうとするのはなかなか困難だろうと思ってます。ただロープ抜け落ちるの施策方向に力がかかるだけなので、それはその選手、船尾側の方に代とかをつけてやって、そこで受けるってことは可能だというふうに考えてます。
2:18:05	ちょっと思ったのが、
2:18:08	結局、例えば整備方向なんか考えてそこで固定とかしちゃうとね、かかってくる力は変わらないですよ、おそらく。
2:18:17	だから、何かやっぱりこの方式でもそういうふうに船尾をこうして固定するみたいなことになると、船舶の補強が必要になっちゃうような気もするんですがそのエンドウにお考えですと今セガワという方はここ
2:18:31	他でカナダです。モーターがついてません。振りがついててこの辺でもともと強度がかなり強いところなので、そこにそういう境内つけて、100t 200t ぐらいの下方向の力を受けるのは特に問題なさそうだと思うまして。
2:18:44	ただそれでいくのか、そもそももう船自体がコウ。
2:18:47	鉛直方向に引っ張られるだけだったら強いですから上からそのロープで釣っとくっていう方法もありますので、どちらかの方法でいずれにしても脱落防止の対策は打たないと、今回のその同真木ロープで、
2:18:59	斜め下方向に引っ張るっていう力に対しての成立ではないと思ってますので、そういう対応をとろうと思ってます。以上です。わかりました。
2:19:07	いずれにしろこれ初めて泊で採用されるって先ほど兼田さんの方の説明あったんで、
2:19:13	ちょっとこの辺、うちからのね、負担のメカニズムみたいなものは、やっぱり後のちょっと説明していただく必要があるかなと思います。北海道海田で受けておりました、全体の聴力とか、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:19:24	今日イイダコメントを踏まえてどれくらい力かかるかっていうのがわかれば、今度はその下方向にどういう力があるかってこと出せますので、それにもつような対策を、説明できると思います。よろしくをお願いします。
2:19:42	規制庁藤原です。この図を見た時に31ページですかやっぱなんか下にずれて抜けそうな気がしないで何かこの脱落防止は今検討中であることはきちっと、
2:19:52	まず明記はこの資料からした方がいいのかなってというのが一つ。
2:19:56	もう一つは、
2:19:58	ちょっと今日今田谷さんが話されたように、この設計のコンセプトみたいなやつが今なんか、結構重要そうな話ありましたね。
2:20:07	なんですか。全体が、持たない、持たないというかセンターに均等に他の荷重を分散させたいがために、この銅巻きロープを多分やると。
2:20:19	ですと、どの記録からこの係留策を引き出して、
2:20:24	そして荷重が分散できるとかそういったコンセプトなんですよね。一旦そこはきちっと要は、何ゆえにこういった複雑な構造せざるをえなかったとか、要は三浦が言ったように、どっか、
2:20:36	経理作とか雰囲気つけときゃいいんじゃないかちゅうのもあるんですけど、そこはもうちょっと何か、
2:20:41	ちょっと示した方がいいように思いますが、いかがですかね。北海道カネダです今の脱落防止ハラ首藤、荷重の分担の観点でどうグローブを使っているところについて、説明の記載を追加したいと思います。
2:20:54	規制庁五十嵐ちなみにですね、実際のここんところの物体の挙動挙動という過去の漂流物防止装置の挙動のイメージちょっと何となくイメージ持ちたいのでお話するというか、
2:21:08	質問させてもらいますけども、まずその31ページのような船が水平方向に
2:21:14	横方向でも磯アノ、
2:21:16	今これ岸壁直行方向ですかに動いたときに、
2:21:21	この下のオレンジの、
2:21:23	方から引っ張り力がはかかかりますよね。普通、どんな記録、その時にですね、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:21:31	今日も何かちらっと話し、Cあったように、多分同真木ロープ及びその接続ロープは、繊維材、
2:21:38	でしたっけね、であって、もしかしたら両方とも何か、
2:21:43	議長力がかかったら、伸びるそれどう記録もやっぱり伸びると。
2:21:48	はい。北海道でカナダです。繊維ロープですから当然その伸び率ってのロープによって設定できますけれども両方とも伸びます。
2:21:58	規制庁チャンスわかりましたそういった伸びを考慮して例えば、一方が
2:22:03	この何ですかこの31ページでいくと、下から月
2:22:07	月上げるしたかということを示したからこうなんですかね来たときにも、
2:22:13	そしたら何だっけ、同真木ロープは一部はその圧縮、圧着する側ですけど一部は剥がれる側になるんですがそういった状況もちょっと考慮した評価を今考えてると。はい。ロープの強度でそこは見れると思っておりますので、
2:22:28	同真木ロープの強度とか例えば今の係留ロープにどういう力がかかるかっていうことを、わかれば、その分力として、同真木ロープにどういう力がかかるかってことが出てきますので、
2:22:40	そのロープ、その張力に対して、体力的に持つ道満ロープを使うという形になると思います。
2:22:47	はい。規制庁藤原です。わかりました。ちなみに
2:22:51	何て言うんすかねそういったセンイ材がどれだけ伸びる弾性率。
2:22:56	ていうんですかそれで何か不確かさとかばらつきみたいなやつなんかあるんですかね、要はある状況だと、こいつは強いけどこいつは弱いとか、そういった中でこれ試験もありましてロープ会社の方でやってますので、
2:23:09	例えば今のすごい高強度のやつですと伸び率が非常に低くなって、例えば2%とか2. 数パーセントぐらいのやつもありますし、あとはそのナイロンみたいなやつは10%20%伸びるのがありますので、
2:23:22	そこは今度全体として、タダウチさんから言われたようなどういう力かかるんだって話で、それをそのロープの伸びである程度吸収するとかって考えたときにどういう伸びのロープを選定するのが適切かということについて評価していった上で決めていかなきゃいけないというふうに考えてます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:23:38	規制庁チャンスわかりました一応そういった内容も一応設計のコンセプト等的なものかなと思いますので、要は、実際に冒頭で今梶原ＣＯＯしましたけども、
2:23:51	そもそもどういうふうなこの漂流防止装置があってどういうふうな設計をやる上に、だからそういった子、
2:23:58	荷重はこういうふうを考えるんだみたいなところに流れていくように、整理いただけると思い、思いますがいかがですかね。北海道の兼田です。まだその定量的な数字じゃなくて、コンセプトでどういう考え方で力を受けるのかってことについて整理した上で、資料の方に反映したいと思います。
2:24:14	はい。
2:24:24	北海道でのカナダです。これこれ1本になってますけど実はその何分割化されているところで、要所要所のところを締めて繋いでいくんですよ。最後の1個だけ、
2:24:34	最後に1個のとこだけギュッと染み込んでしまいますけれども、ロープのその強度から見ると、そこで閉める力といった方法を、せいぜい予兆を伸ばす程度の形になるので、何となく全体、密着してついてるっていう程度だと思ってます。
2:24:51	はい。そしたらもう、私の方から25ページの方の、
2:24:57	新川の方の、
2:25:00	評価の考え方ですね。
2:25:03	こちらの方で、
2:25:07	この新川の自重とか、将 I I
2:25:10	よく算出式っていうのがですね、結果的にちょっと荷重を、
2:25:16	何ですかね右の方で図が悪うやつで、Pという、これなんか張力かな。
2:25:24	聴力ですね、が作用するとしたら、
2:25:28	それを鉛直方向と水平方向に分解して、
2:25:33	結局だから、
2:25:35	P Hとか水平方向の成分については底面摩擦とその自動度圧で抵抗します。これで動かなければいいんじゃないですかっていうような
2:25:46	話ですね。これ、
2:25:49	まずですね摩擦係数とか、あと自動ドアツアの
2:25:55	根拠っていうのはちょっと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:25:56	いまいちよくわからないんですけど、そもそも論として、
2:26:01	どれくらいぎりぎりの設計をやってるかにもちょっとよるんですけどね。これ、結構新川ってところで、ここでえられる許容限界にこれが適切かどうかわかんないけどそれに対してもっとより、
2:26:14	マッシュ呉町をすごい
2:26:17	もう重たいものにするということです。うん。そういうことをどれだけとるんですか。
2:26:24	北海道で。はい。はい。
2:26:27	北海道電力ネダです。余裕についてはどこまで持つかってのはこれから調理食う人で出てきた値になると思ってるんですけども、聴力自体が100トン150トンぐらいに対してこれ1000、重さ2000トンぐらいの
2:26:41	新川考えてますので、審議会としてはかなり過剰な大きさのものになる。今のこの大きさだったらそうなるんじゃないかなというふうに思ってます。あとは少し合理化できるので合理化していきますけれども、
2:26:52	また重さで稼げばいいわけなので、そこはその聴力に比べると、新川の方の設計は裕度があるというふうに考えてます。
2:27:01	聞いているじゃないですか。わかりましたこのあそこの進化重量2000トンと牽引力、1万KNかな、これが多分今おっしゃられてるやつですか。
2:27:10	ちょっと何かどっか単位がそれ、それだけとそれとか併記してもらえるとありがたいですね。いいですか。
2:27:21	併記というのは資料の中にどっかに書くってということですか。今書いてあるところはここに書いてあるんですけども、どこかに出しましょうか、考え方として。はい。
2:27:52	あ、わかりました。資料もそれにさせていただきます。
2:27:59	富田ちょうど25ページなんで、これ底面摩擦力のRリアクションの、
2:28:06	これあれでしょう、将通のみの、
2:28:10	食べる呉から、
2:28:12	PWPVを引いたやつ、新美オカ君じゃないの。
2:28:17	だから括弧なんじゃない。
2:28:19	美優、括弧W-PV括弧閉じプラスPHじゃないですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:28:32	北海道電力田澤ですちょっと数の釣り合い式を変えたというつもりでしたので、ちょっとその辺、正しい表現に修正します。すいません。ちゃんと意識は見直しを行ってください。PVの部位もこれ小文字ですよね。
2:28:47	はい。よろしくお願いします。
2:28:52	はい。規制庁藤原です。ちょっとまとめ資料今後でいいのでその底面摩擦係数とか自動ドアツーはどういうふうに出してるかっていうのを示していただけるようお願いいたします。よろしいですか。
2:29:04	はい。北海道の金井です。了解いたしました。考え方を整理します。
2:29:11	規制庁藤原です。そしたら、
2:29:14	津波にこういった漂流物防止装置、
2:29:18	構造、結構初めてまでルー
2:29:21	係数ですかね、今日もいろいろ議論があって、どういう荷重そもそも使うんだとか、どういう構造、
2:29:28	妥当性っていうのは、
2:29:30	やっぱり何か何らかの書類とか、手計算で出てくることは当然出てくるのかもしれないけど、
2:29:39	結局妥当性ってどういうふうに検証するんだろうかっっちゃうのがやっぱり最大の
2:29:45	我々の関心事項でもあってですね、これを妥当性検証ですかね、要は、そもそも今回適用すさせるような規格基準がないので、じゃあ妥当性はどういうふうにやっぱ、
2:29:57	今後検証すべきか。
2:29:59	何かこう、アイデアとかございますかね。
2:30:14	北海道の金田です。これやはり係留の専門の船舶の会社とかによる相談しながらやっておりますので、そこともその考えと理論式で、妥当なところを見れるんだっていうものをちょっと整理かけていきたいと思いますので、
2:30:29	今すぐここでちょっと答え出せませんが、今おっしゃったような話をずっと踏まえて、資料を構成したいと思います。
2:30:53	ちょっと今規制庁内で打ち合わせ中少々お待ちください。
2:34:18	規制庁藤原です。ちょっと庁内打ち合わせの方終わりました。引き続きまして、
2:34:27	と、そうですねこれを1、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:34:30	へえ。
2:34:37	いや私の方は以上ですはい。
2:34:42	規制庁中瀬ですちょっと確認したいんですけど先ほどから出てますけど、
2:34:47	6 ページ目の、
2:34:53	溪流さんは、これ、あれですね、耐震考案耐震化、205 が耐震化しないという考えでよろしいんですか。
2:35:02	なんかハイブリッド組み合わせた組み合わせないって話もあったんですけど。
2:35:07	耐震化しないという考えでよろしいですかっていうのを確認したいんですけど、現状は耐震化っていうか取るっていうところは、今の海側から係留するだけだったら必ずしも必要ないというふうに考えています。
2:35:22	はい、わかりました。それに伴って、
2:35:27	1112 ページの話なんですけど、
2:35:33	これを見るとですね。
2:35:35	へえ。
2:35:38	燃料予算、輸送残等の経理を考えると、荷揚げ人は岸壁に接岸しますよね。
2:35:45	接岸するとき、仮にですね。
2:35:48	へえ。
2:35:52	地震が起こったらどうするんですか。
2:35:55	もし、
2:35:56	地震が起こって、こういうふうに、
2:35:59	船にこの土産岸壁のケーソンがわかりませんがこれが当たったら、
2:36:05	船が破損して、
2:36:07	最悪の場合座礁する可能性があるんじゃないですか。
2:36:11	いわゆる例えばS sが1 起こって、その
2:36:15	1 時間後に津波が来るというパターンも考えられるんですけど、そういう意味では、みやげ岸壁ってのは、耐震化が必要だと思うんですけどそういうケースは、
2:36:25	もうフジイ上げ対応できるんでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:36:31	北海道の金田です。今そこまで話が出ましたので、宮川については、杭を岩盤に入れて、耐震化するっていうか耐震化という動かなくするってことは、可能だと思ってます。
2:36:45	そうす対応ですか。これ、
2:36:51	S s 対応というのはS s で全くなんでしょうコンクリート自体がコンクリートを岩着にさせるわけではないので、杭を打ってコンクリートをコウ支える形になりますので、
2:37:01	杭自体が動かないが、護岸がコウ海側に出てこない傾かないとかっていう対応はできると考えてます。
2:37:09	よくわかんないですけど、傾かないって傾きを制御して、
2:37:14	宮路に燃料輸送性にぶつからないという根拠はあるんでしょうか。
2:37:24	北海道の金田です。今おっしゃってるのは、値上げしてる時に船が接岸してる状態で地震が来たときに、護岸側から何か影響があるんじゃないかっていうそういうご質問ですよ。はい。
2:37:38	はい。この家、船に当たって船が参照する可能性はゼロではないですよ。真木他の防舷材というゴムのやつですねコガ自体がばっと動くんです。
2:37:51	下が砂田 ですよ。場合によって議場化する可能性ありますよね。そんな簡単に岩盤みたいに受精ニュース動くっていう話じゃないと思うんですけど。
2:38:01	その点は案で、アイデアだとしたら今後考えて欲しいんですが、北海道管理です。
2:38:08	今はそのところっていうのはどんだけ動くかって話もありますけれども、
2:38:13	考え方によっては、このところに杭を打って行って、護岸が動かないようにするってことは、検討しております。
2:38:23	規制庁中沢です。
2:38:25	一応今後考えるという、
2:38:27	解釈でよろしいでしょうか。
2:38:31	北海道で鹿庭その解釈でよろしいです。
2:38:33	今後考えるときにですねもう一つお願いしまして、11 ページの左の図を見ると、そのムラオカば5 番の近くに、
2:38:43	12 号をオガワですかね、防波堤があり、
2:38:49	なおかつ放水家があります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:38:53	これも動く可能性があるんです。いわゆるS _s 地震時に波及的影響での可能性があるとして、この波及的影響も考えて欲しいんですが、よろしいでしょうか。
2:39:10	はい。北海道電力の辰田です。その辺護岸の補強、護岸の対策に踏まえ含めて、
2:39:19	ちょっと解析の範囲に含める等ちょっと考えたいと思います。以上です。はい。特にですね防波堤は皮膚-B l o c kとかですね。
2:39:29	並木エスボック上部コウ統管、バラバラになる可能性がいっぱいあるので、それらが、
2:39:34	万が一出る優先等にぶつかるとまずいかなと。
2:39:39	逆に燃料輸送線はですね二重構造とか、大丈夫かもしれませんが他のまでだったら、
2:39:45	破損する可能性があるんでよく考えて欲しいなと思っております。
2:39:49	あともう1点ですね。
2:39:51	燃料ゆ燃料移送線等で津波が来たときにですね、
2:39:57	仮にですね、木材とかFRPが表裏化してですね、その一部がそのなんつうかりかしてですね、いわゆるササキゴトウがあったりしてですね。
2:40:07	船体の接続ROVとか、アンカーの接続ロックが、
2:40:13	切断する可能性もあると思うんですね、この点については、何か対策を考えてるんでしょうか。
2:40:23	北海道電力高城です。
2:40:26	北海道電力田上です。こういう仙台接続ロープであったり、進化するグループにつきましては、被覆をですねロープ本体とは別に設けましてですね、漂流物等で損傷しないような体制を考えてございます。
2:40:39	わかりました。詳細が決まったらまた教えてください。
2:40:45	あとですね先ほどからこれを設計するためのですね、いろんな波源とか波の話を言ってるんですけど、
2:40:54	この後全体としてですね設計にあたって何が課題でですね、
2:41:00	どうすれば、
2:41:02	解決する。
2:41:04	その解決に向かう道筋というのをですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:41:08	今後、資料の中に反映して欲しいんです。
2:41:11	例えばその下、
2:41:12	波源とか、いろんな充足溜子とかいろんな要素があるんですけど、
2:41:19	それをどうとらえて、
2:41:21	どうやって、この安全性を保つのか、そのためのフローはどうするのか。
2:41:26	とか課題は何かというようなことをまとめて、
2:41:31	そのために水理模型実験をやるとか、3次元のシミュレーションやるとか、というような対策もあると思うんで、そこの流れもですね、
2:41:40	これらをまとめる基本設計方針の中にぜひ間、
2:41:45	反映して欲しいなと思ってんですけどよろしいでしょうか。
2:41:53	北海道の金田です。設計にあたって課題と解決方法について、整理してお示ししたいと思います。
2:42:02	規制庁中瀬ですよろしく申し上げます。
2:42:05	あとですね私からの資料全体として先ほど、係留に伴う作業員の安全先生は別個お話すということで、それはお願いしたいと思ってましてその時にですね、
2:42:18	いわゆる主タグボートC O 済み燃料専門、その接岸とかですね計上するため、
2:42:24	多分ボートはどうやって逃げるのか、逃げるのはどこの港に売なのかというところまで教えて欲しいんですがよろしいでしょうか。
2:42:36	台数。
2:42:41	北海道電力の志田です。タグボートの対比についても記載するようにします。以上です。
2:42:48	はい、規制庁高さです。綿Cからこの分野です。
2:43:00	使用済み燃料線を停留するっていうんですけど、
2:43:05	岸壁の海底のですね、地質図が欲しいんです。
2:43:10	いわゆる
2:43:11	こういう地質で砂層がどのぐらいあるのか、看板も岩盤までの砂層の厚さとか教えて欲しいんです。
2:43:18	なぜかという、
2:43:20	それは液状化した場合に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:43:23	この海底の砂は液状化するのか。
2:43:27	包丁等の計算ではですね、前面海域2メートルって言うてるんですけど、劇場したら下手したら2メートル沈んでそのときに、
2:43:38	いわゆる津波P R A 普通余震の時はですねそういう可能性もあるわけですね。
2:43:43	2メートル沈む。
2:43:44	もう1点はですね。
2:43:46	なんていうか、
2:43:50	へえ。
2:43:51	アンカーというか、
2:43:53	へえ。
2:43:56	進化を止めるためのアンカーっていうのは、砂地盤のナカ上には動けないですよ、液状化する可能性があってこれ時点の可能性はある。
2:44:06	そうすると岩盤に岩着するか。
2:44:09	もしくは狂って止めるかしかないんですけど、
2:44:12	この点はいかが考えてるんでしょうか。
2:44:15	回答の方お願いします。
2:44:22	北海道電力の立田です。
2:44:24	今の中畑さんのご質問でいくと、す、このシンカー、設置する場所、
2:44:32	砂地盤になってまして、
2:44:36	今、解析でこれから条件決まってくれば、設計していく中で、
2:44:43	砂地盤の無くさ地盤の液状化も見ながら、進化が沈下していくと、それで
2:44:53	新館の健全性だとかを見ていく予定をしてました。
2:44:57	以上です。
2:44:59	新館が沈下するということは、ローブの伸びしろが余裕がなくなる可能性もありますよね。もしこれ2メートル沈下だったら、
2:45:09	埋めた余裕を持たないといけないとか、そういうところまで考えて欲しいなど。
2:45:14	ただ、実際はこれは、この新新館のアンカーをってかなり重たいですよ。数千tって書いてあったように、それをですね。
2:45:23	野放図液状化する地盤におけば、ただでさえ、平時でも沈下すると思うんですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:45:29	そういうのを考えて欲しいなと思っておりますけど、この点についていかがでしょうか。
2:45:37	まず計量部については今後その真価が例えば液状化でどれぐらいし、沈む可能性があるのかっていうのを踏まえた上で、余長の方の、
2:45:46	設定をあらかじめしておくって形になると思っております。
2:45:51	北海道電力のタツザワです。例えば25ページなんかで示したものについてはちょっと今、
2:45:59	この
2:46:01	牽引力とか緊張力に対しての進化の大きさというところを示させていただいてますけれども、
2:46:08	その新患の大きさが決まってくると、どのぐらいの沈下量だとかっていうのが出てくるかと思しますのでそれを見た形で、
2:46:20	設計を進めていくという考えでございます。
2:46:25	25ページ。
2:46:51	すいません。
2:46:53	議事録だけじゃなくて受贈抵抗も考えるということをお願いしたいと思って、あとも、
2:46:58	もしですね液状化が収まらない間に津波が来ればですね、
2:47:03	当然輸送線にかかる、
2:47:06	はつうのは海水ではなくてですね、液状化も踏まえた、いわゆるドロドロの水がかかるんで、その発も考えないといけないと思ってるんですけど。
2:47:17	この点はいかがでしょうか。
2:47:24	北海道電力の辰田です。改正の密度という点のご指摘かと思えますけれども、
2:47:31	ちょっとこの辺まだ詳細決めきれてませんので詳細決まりましたら、またご説明させていただきたいと思えます。
2:47:39	はい。そこら辺よろしくお願いします。
2:47:44	例えば、
2:47:46	16ページ目にですね、評価方法のところ、新川S _s 地震に対して内的安定として2次元動的F、
2:47:56	フィリップを用いて地震荷重に対してアンカーが損傷しないことを確認するという、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:48:02	あるので、これを踏まえて解析と解析の考え方、いわゆる検討の考え方を、
2:48:10	まとめて欲しいと思っております。以上です。
2:48:15	矢崎ですけど、今の話で、長さが言った16ページって、
2:48:21	新川損傷しない。
2:48:22	本心そうね損傷するような荷重がかかると思えないんだよね調べたいものが、
2:48:27	それよりもその活動としての抵抗値が、そういう自信も発揮できるのか、そっちのが重要な違うと思うんで、サトウ、さっき言った液状化によって、
2:48:38	地耐力支持性能が欠けて基本的に名店沈下したらその予兆に対しての対策だとかそういう方が重要だと思うんで、
2:48:46	その辺もよく考えて、何を検討すべきかともう一度整理してください。
2:48:53	北海道電力の辰田です先ほどからありましたそのどういう事象に対して設計していくかという考え方をちょっと整理させていただこうと思います以上です。
2:49:07	ミウラですけど、ちょっとね、先ほど話聞きになったんですけど、ロープの長さをね沈下分を考慮し長くするとかって、対応策あるじゃないですか。
2:49:16	そうするとこれややもすると、
2:49:19	長く沈下しなかったときはね。
2:49:22	岸壁に片方が乗り上げちゃったりってことが出てくると思うんですね。その辺も含めて、
2:49:29	検討してください。
2:49:31	今回、おっしゃる通りだと思ってましていたずらに長すぎると、確かにオリタ時にちょっと当たっちゃうとかっていう可能性がありますので、そこはその流れとか津波の流れでどう動くとかってことを含めて評価した上で、説明したいと思います。
2:49:54	イシダさん、お願いできますでしょうか。
2:49:58	規制庁石田です。えーとですね。
2:50:02	21ページのところなんですけど、
2:50:06	ここではですね、策定時の検討の検討に対する設計方針ということで書かれております。それで、今日の
2:50:18	少し冒頭でお話をしたんですけど検討評価については、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:50:23	着て字だけじゃなくてですね水位上昇側の方も、確認いただきたいということで、今後、評価をするというお話をいただいたんですけれどもね。
2:50:34	そこで1点確認なんですけど、
2:50:38	店頭に至るまで、アノ型無傾斜ですね、そういったようなときに、市民の状態であるとか、その時に人がそこにいるのかどうかということもちょっとよくわからないんですけど。
2:50:51	そういうようなことってのは、何か、
2:50:54	現状でも考えられてはいるんでしょうか。
2:50:59	確認です。
2:51:01	保険カネダです。そのツツミ傾きの話はこれから評価になりますので、その次のことってのはその上で考えていきたいと思えます。あと1については、係留してて津波が来る前には退避することが前提となっておりますので人がいる状態にはなっていないというふうに考えてます。以上です。
2:51:18	規制庁の石田です。了解いたします。それじゃ
2:51:23	シミズのとこですねその時の傾き、それから一検討、それについての評価をする上でですね、次の状態についても、それを踏まえた上での検討をしていただくということで了解いたしました。
2:51:38	よろしく願いいたします。
2:51:50	はい規制庁橋です。
2:51:52	さっきから出てる。
2:51:54	選対ローマ機ロープなんですけど、
2:51:57	これ10ページ2、
2:52:00	漂流防止措置の定義で、各種ロープっていうのが書いてあって、それもう、
2:52:05	各種ロープの中の一つで漂流防止装置の一つだと認識してるんですけど。
2:52:12	さっきから出てるこのロープを、
2:52:16	全体からずれないように固定するので、
2:52:19	前の方と後ろの方で、
2:52:22	振れ止めができるんだっていう話なんですけど、
2:52:25	これセンター長が100メートルもあって、
2:52:28	どういう材質、どういう単位体ヒラタアノ谷長さ当たりの重量かわかんないんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:52:35	普通
2:52:36	船を固定母屋入りするロープがなんかすごく重くて、まともにピンと100メートルも貼れないですよ。
2:52:49	まつりだ、
2:52:51	魚釣り時のグラスファイバーみたいな。
2:52:54	最初だったら、
2:52:56	ある程度軽くできるかもしれないんですけどそうすると、非常に伸び率が大きくなって、
2:53:03	実際に100メートルを、
2:53:06	固定しないで保持するっていうのは可能なんじゃないかな。
2:53:18	北海道の金田です。今その100メートル長さありますので、一本の分でぐるっと枠のやはりどだい無理だと思ってまして分割してむ見ながらそのつなぐところ、かけ繋ぎって形で繋いでいくんですけども、
2:53:29	そこでしっかり校長力を張りながら、全体として落ちないようにするのと、あとは必要に応じてコウつっておくっていうことも考えますので全体としては落ちないように形の構造にしようというふうに考えてます。
2:53:41	規制庁大橋です。
2:53:43	の協力をさっき算ほとんどかけないような話をしてたんですけど、やっぱり協力必要かなっていうところもあるわけ。
2:53:52	という話ですから、
2:53:54	あんまり聴力をかけると、今度、
2:53:57	船が出ていくときにそれを解除するとき、聴力が張ってあるやつを切るっていうのは非常に危険なところがあるので、バックルか何かで、
2:54:08	閉めたりゆるめたりっていうのもあるかもしれませんが、
2:54:12	あそこは、
2:54:13	あんまり聴力をかけるっていうのもちょっと難しいところあるかなと思いますどうでしょうか。北海道のカネダです聴力掛けるってちょっと言い過ぎなところもあって、要はその緩まない程度にかかっている状態にしてるというふうに考えてます。
2:54:25	あとはそのずり落ち防止、津波が来たときの需要地防止と、実際同記録については、当然泊の湊でつけてる時間は当然ありませんから、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:54:37	船の母校である■■■■であるとかそういうところで、事前につけて入ってきてくれてその時につけて、つと苦情な状態のことは考えております。
2:54:49	規制庁大橋です。もう少し具体的になったらまたその辺は説明をお願いします。
2:54:57	以上です。
2:55:17	規制庁福嶋ですちょっと今機密情報に関わる発言がありまして一部発言は訂正（マスキング）をさせていただきたいと思います。
2:55:30	企業って言った。
2:55:51	はい。
2:55:53	被水町の谷口です。
2:55:57	19 ページ目のところにある、オフィス係留の説明のところなんですけれども、
2:56:15	今大きなスケールの設置作業のイメージは、岸壁に近いところに、今オオキ出し軽量の場所を作ってるんですけど、
2:56:26	ここ 2 船が着くまでの間は、
2:56:30	友好してここまでの間には、
2:56:33	沖田スケールの場所は作らないんですか。
2:56:37	ここまで移動してこないと、係留できないわけですよ。
2:56:41	その間に何か、
2:56:44	オギを切るっていう、
2:56:46	状況は考えないんですか。
2:56:50	北海道はカナダです。例えば船が入港してきて、係留する前にもし、地震速報とかあればそのまま置き逃げていきます。
2:57:02	つなぐのは先ほどちょっとご説明しましたけれども、シンカーから部位が出てその部位のところ、
2:57:10	4ヶ所一緒に同時にコウシャックルか何かのところに、こうどんとこう差し引きますんでそれは短時間で切る。
2:57:17	癒されればそこで係留完成と、
2:57:20	その手前だったら普通にに入れていくっていう、そういう形を考えてます。その辺と、この辺、その辺シナリオが当然あるんだと思いますけれども、そういうシナリオを、
2:57:31	やっぱり説明をしておいていただければと思います。だから、
2:57:36	どういう状況であれば、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:57:39	外へ出るのかっていうことだと思いますけど、当然そういうシナリオを考えた上で、
2:57:45	係留の部位を考えてると思うので、その辺を説明しておいてください。
2:57:50	電力の志田です。そういったところも含めてですね作業員の退避にかかるところで、そこが議論しないといけないところだと思ってますので、そういったところをまとめて次回の資料で、
2:58:02	お示しするようなことを考えてございます。はい。よろしくお願ひします。それによって、当然そう、そういうシナリオでは考えていけないといけないと思いますので、よろしくお願ひします。それからもう一つ、
2:58:14	この、先ほどもずっと話が出てるんですけど、結局、麦、それから衛藤真木のところは、
2:58:24	長さも大体固定で決まるんだと思いますけど、先ほど言ったロープ、
2:58:30	ロープについては先ほども出てるように、
2:58:33	たるんだり、
2:58:34	つる予兆とかそういうことが一番、どうするんだろうなというところが非常に心配なところなので、検討する内容、
2:58:42	今後していかないといけない内容については、明らかにしておいていただいて、今後、どの時点で説明していくかってことだと思いますけれども、
2:58:53	県、項目として明らかにしておいていただければと思います。よろしくお願ひします。
2:58:59	北海道カネダです。受けとめました。ロープの長さについても、考え方について整理してお示ししたいと思います。
2:59:08	この最後、
2:59:11	浦村尾です。
2:59:13	あ、ごめんなさい。はい。いいすか。
2:59:17	規制庁シゲマス 19 ページのところの、
2:59:21	その吹き出し経理のところの、一番右の作業助教さんで、木田氏経理に加えてですね、通常のK0 サクマさっきアノ内田タムラの言及あったんですけど。
2:59:34	この通常の経営施策っていうのは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:59:38	今何だろう、沖出し経理部を完成した後も、通常の軽量作物買って今、係留されてる状態で、このときに津波来たらこの
2:59:47	通常の給料とかこれ会得な形になるんですかね、これって。
2:59:51	他がカナダです。特にこれ、とかなくても、津波来た時にかかるコウカとか、あと上に上がっちゃう力っていうのがすごく強いんですよ。これ10tぐらいの強度しかないね、タカキれるだけだと思ってますので、
3:00:05	特に外すのがマツダというふうに考えてます。
3:00:12	術、そっか通常のロープの方、100トンです。
3:00:19	今、まだこれから議論になると思うんですけども、北海道カナダです。
3:00:25	津波の時にかかる張力っていうのは、マックスでいくと100トン以上1本当たりかかる可能性がありますので、それから見ると、そもそも5メートル6メートルも津波で上がっちゃうと、
3:00:35	船をそうした方向に引っ張るなんて不可能ですからもう普通の軽量マーク入れちゃうだけなんでこんなのほとんどないような力ですから、これを外してから人が逃げなきゃいけないとかそういうふうに思った人が逃げてしまえば登録切れることに安全性とかの問題もないと思ってますので、
3:00:51	基本は今はそのままとしといてもいいかなというふうに思ってます。
3:00:54	規制庁藤原ですけども、ちょっとよくわからないですね今日タダウチも言ったようにどういう状況でどういう、
3:01:05	いやだからある一定まではこの何ですかね、通常の警察が機能しているときに、仮に船がこう傾くような状況があるのかないかとかですかねそういう何かいろいろ、
3:01:15	何か気になると思う。いや10番の鍛冶。
3:01:18	ずっとあったかな。ます。梶山ではだから、生きてるわけですよ。それだから、岸壁に繋ぎ止めてるんだったらやっぱその状況はどうなのかで、どういう状況から確実に、
3:01:29	切るのができるとしても何か、1235678とかあるけど8番、一基2本飛ぶのかそれとも、
3:01:38	1個1個順番にババンって聞いていくのか、江崎も言ったようにですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:01:43	何かいろいろ等考える事象もあるのでそこら辺をちょっと今後です ね、整理大井タダ形ますでしょうか。
3:01:50	北海道海田の通常の係留策についての扱いについて整理してご説 明したいと思います。
3:02:01	規制庁中房です。
3:02:03	最後に作業員の安全ということで、ここには載ってないんですけ ど、見下ろしのことでちょっとお聞きしたいなと思って、今後 です。
3:02:13	納入後の事務くらは撤去すると、使用済み燃料を積みおろしは 移動式の大型クレーン、まあ100トンぐらいあるんで150トンぐ らいのクレーン。
3:02:25	扱うと思うんですけど、こういうクレーンがですね、地震時にで すね、すぐ
3:02:32	逃げれますか。
3:02:34	普通150トンぐらいを組み立てるには30分とか15トンくらい何 台か使って、事務とか何か積み立てると思うんですけど。
3:02:44	それが1日以上か、後私の記憶だったら半日とか20日1日よくわ かったんですね。
3:02:52	そういうことを考えると多分、地震の20分とか30%前に警報が出 てもですね、逃げれないんじゃないか、そういうときに、
3:03:03	北電としてそういう移動シノオガタ鹿庭どうするのかっていうの は今後考えて欲しいんですけど、よろしいでしょうか。北海道電 力の志田です。そもそも今岸壁、そもそも逃げるルートに耐震性 が、
3:03:16	ないっていうところを踏まえると、逃げれますというのを逆に言 えない状況だと思ってるので、そのクレーンがあったとしても、 漂流物にならない活動しない。
3:03:26	そういった評価をして問題ありませんっていうところをご説明す る方法しかないかなというふうに考えている状況です。
3:03:33	あとそのおっしゃった通りすぐ解体だとか、すぐ動くのは無理か なっているのは私たちも共通の認識です。
3:03:40	わかりました。そこら辺は、
3:03:44	いわゆるものは5番を耐震化してですね、何かとるとか、活動の ためのところっていうのは必須だだと思いますんで、そこら辺は ぜひ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:03:54	耐震化も踏まえて考えて欲しいと思うんですけど、よろしいでしょうか。岡野カナダです。今のそのクレーン数も含めて、護岸のところについての
3:04:04	補強ということについて検討の方しっかり進めたいと思います。
3:04:09	これは非常に難しい話だと思うんですけど、
3:04:13	いわゆる、
3:04:14	クレーンのツツミ作業中にですね、地震が来たり、津波が来る可能性はゼロではないんですけど、こういう時にちゃんと対応策が考えてるんでしょうかと。
3:04:25	いわゆるその移送練り操船に罪が当たらないように、
3:04:30	何とかするとか現場で、
3:04:33	対応策を考えた方が夜も考えないといけないと思うんですけど。
3:04:38	もし、ハードでやるかソフトでやるかわかりませんが、そこら辺ってというのはどういうふうに関後考えていく予定か。もし、
3:04:47	今の時点でわかれば教えて欲しいんですけど。
3:04:50	北海道電力の志田です。ちょっといただいた質問に質問で返してしまうんですけど、例えば戦争で釣ってます、地震が起きたら触れます。
3:05:01	それが船に当たらないかっていうことをおっしゃられてる感じですか。
3:05:06	だとしたら、
3:05:08	そもそもうちだけじゃなくて、全部のプラントが同じ評価になってしまうんですけど、
3:05:15	特にうちがハード対策やると考えてない状況なんですけど、そこはどういう。
3:05:21	考えですけど、他のやつは、あれですね、高間で聞いたときは、に従属で座礁しても、燃料は取り出せると。
3:05:32	いわゆる燃料をずっと置いておくことはしません。
3:05:37	はい。そ安全策あるんですけど北電は、
3:05:41	ちょっとそれより条件がかなり厳しいので、聞いておりますがいかがでしょうか。
3:05:57	10、6月、
3:06:55	北海道電力の志田です。選対は先行プラントさんと同じ船を使っていて、20層厚になっているので、同じ考え方になるかなと思います。すいません以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:07:21	それだけです。10 ページ目のところの、
3:07:25	溪流の③のところの三つ目のところ、
3:07:29	図版が書いてあるんですけど、10、
3:07:32	10 ページの図の1-3 っていうのは、11 ページの、
3:07:36	津野秋野さんですよ。
3:07:37	そう。
3:07:39	北海道電力志田です。誤記修正いたしますありがとうございます。よろしくお願いします。
3:07:53	規制庁の三浦ですけど、これ一つ質問です。
3:07:57	19 ページで、左下に作状態1で、
3:08:01	軽量部位にコウ接続するってあるじゃないですか。このKVは前のところ見てみると、
3:08:08	入稿前に、ダイバーによってありますって、これ常設ではいけないんですか。
3:08:15	ぷーとかずっと海の中にありますと、やはり劣化しますので、使うのってほんで1年に、
3:08:22	1 週間もないんですよ。なので普段はアオキ上げといて保管しておいて使う時におろして、
3:08:28	つけるっていうそういう運用することを今考えてます。わかりました劣化がしちゃうからってことなんですね。何か邪魔になるっていうことではないんだ、ですね。
3:08:37	ハバノの観点ではなくて、やはり形
3:08:43	何でも同じなんでしょうけどずっとわざわざおいてふらふら入れてるのもよくないので、何かダイバーでこうやるのも大変かなと思ったもんですからね。はい。わかりました。はい。はい。結構です。
3:08:57	審議会のロープも、それもつけるのを、その係留船が来的时候に、その前の週とかはよくわかんないですけどそれにつけて待ってるっていう形にしようと思ってます。
3:09:08	これは、そうですねすべてオオキ陸で保管して、ちゃんと適切に管理しようと思ってます。
3:09:35	Web で参加の方で、
3:09:37	追加の確認等ございますでしょうか。
3:09:42	はい。宮本さんお願いします。
3:09:46	宮本ですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:09:49	私ちょっと細かいところの質問するつもりはないんですけど、
3:09:53	全体として、
3:09:56	今度の会合2月1日でまず方針を説明して、2月の終わりに評価結果を説明するという話になってるんですけど。
3:10:07	今日のこのヒアリングっていうのは、基本的に、
3:10:11	どこまでを説明しようとされてたのかだけ確認させてもらっていいですか。
3:10:28	ちょっと社内で北電社内でお知らせください。
3:10:49	社内の打ち合わせがありましたので、該当する北海道にカナダです。
3:10:54	今回のやつは本当にコンセプトっていうことで、少し、
3:10:58	どういうふうにつなぐんだ程度のことしか書いてなかったんですけども、今日いろいろ
3:11:03	ご指摘を受けましたので、ちょっと全部反映できるのはなかなか難しいような気もしますが、ちょっとどこまでのことできるかってのは次回のヒアリングまでにちょっと整理させていただきたいと思います。
3:11:13	ちょっと今、まだどこまでっていうのが、いえるところまで、頭ん中整理されてませんので、
3:11:18	次回までってことでお願いいたします。
3:11:21	宮尾ですけど、多分そうだろうなと思って私言ったんだけど、要は、ちょっとアノと北電がもともと示したのは、2回に分けて会議をやりますっていうことだったので、
3:11:34	今日は私、ちょっと認識としてはまず方針で、
3:11:37	ここで言っている、3ページから記載があるんだけど、
3:11:42	具体的に言うと、係留索の②③、今回③採用してるんだけど、
3:11:52	8ページとかの結果を示して5020歳大井。
3:11:56	大きなコンセプトとしては、待避所に退避だけに聞いたりするんじゃないくて、軽油を係留の検討を経由することによって橋梁物に、
3:12:08	やらないことにしないような対策を実施しますというのが、大きな方針ということで、明確になってるってことですよね。
3:12:20	北電からはその通りでございます。
3:12:23	その上でちょっと私が言いたかったのは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:12:27	要は、2月1日に向けてもともと方針と示し方針と言っていたものは、事業者として、それを今言った私言った。
3:12:36	プラスアルファどこまでの方針を示そうとしていて、2月29日に向けた会合の評価結果の中に、今日の大部分の指摘だった
3:12:47	どういうシチュエーションなりどういう考え方で、これを評価した結果までなのか、兵庫表評価方法なのかそういうものを、2月29日に示すっていう、要は全体の
3:13:02	便利が、何かつい付けてつけられてないんじゃないかなと。で、そういう状態で資料持ってこられてるので、審査官がもう当然、その付けられてる資料は全部チェックしますので、
3:13:13	評価結果に入ったり評価の前提になってるところまで全部確認しますよっていう形になってて、質問を受けても、結局それは今ありませんとか、準備してませんって形になってるので、
3:13:26	国連としてどう整理して、2月1日2月29日になるかわかんないんだけど、
3:13:32	やるかっていう全体を整理してから持ってこないと、何か今日みたいこういう議論が発散するというか少し
3:13:41	書いてあるところと書いてなかったことがあるから、細かく書いてあれば当然こちら確認するしっていうふうになるので、事業者としてもともと2月1日2月29日どうせ説明していくかっていうのを明確に整理した上で、
3:13:55	年明けのヒアリング臨まないといけないような気がするんですけど、その辺は大丈夫でしょうか。
3:14:02	北海道の管理です。おっしゃる通りだと思いますので今日いただいたコメントってのは我々が思っていたところよりも、かなり深いところまでコメントいただいていますので、その辺整理して、
3:14:12	1日の会合を目指してどこまで整理するのか、そのあとその評価結果としてその次の会合でどうするのかということについて次回お示ししたいと思います。以上です。
3:14:24	はい。お願いします。それでその上で今回の話もあったんだけど、一応これ、付けられてるから言うけど8ページのこの劣化3の工程なんていうの我々審査があんまり関係ないですからね。事業者として関係あるのかもしれないんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:14:40	あれ安全側に立ってどれが最適かっていうのを見なきゃいけないので、事業者としては当然再稼働工程なんていうのは一番頭に入るのかもしれないけど、審査がこれ関係ありませんので、
3:14:53	こういうのを書かれると当然我々としては当然指摘を出します。こういうのは、なので、審査としてどうあるべきかってよく考えてくださいねいいですか。
3:15:04	奥田カナダです。わかりました。その辺適切に修正いたします。
3:15:10	はい私から以上です。
3:15:25	すいません規制庁タダウチですけど。
3:15:28	ちょっと議論が発散してってアノミヤモトからのご指摘がありました。
3:15:34	今回ねこの燃料と予想線の話をちょっとやってやっているんだけど、今やってるのは、耐津波設計方針の中でね。
3:15:44	燃料という線としてどうなのかっていうところを議論していただいていると思っています。その中でちょっとね、ちゃんと明確に、規制要求があるところと、その中で耐津波設計として考えなきゃいけないところはちょっと整理をしていただきたいと思いますと思うんですけど、例えばね、
3:16:01	あくまでも燃料というその線は、防潮てへの漂流。
3:16:05	が問題となるのであって、正直言っちゃうけど船がね、座礁しようが沈むが、
3:16:14	例えばバラバラになって漂流物になって防潮てに影響しなければ、対津波設計としては、
3:16:20	特に何か問題なんですか。ないんですよ。あくまでも漂流化して、
3:16:27	津波防護施設の防潮て2 過大な多大な影響を与えてしまう、これはもう敷地に水が入ってしまうかこれは緩、許されない状況。
3:16:37	ではないかと思ってるんでそれを防止するためにいかにどうするかっていう話であって、
3:16:43	ちょっと不船がどうのこうのって話もちょっといろいろ話題には出てたんだけど、
3:16:49	船変な話ぐちゃぐちゃになって係留されて漂流しなかったらいいんだよねっていう感じはあるんだけど、
3:16:56	うん。ただ、ただしですよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:16:59	燃料等予想線については使用済み燃料も運びます。場合によってはLLWって、放射性廃棄物の運びます。
3:17:07	泊については、やっぱり陸側から運べないから新燃料も運びますってところからすればそういうものに対する安全性っていうのは、体制面とは別のところでちゃんと、
3:17:19	議論を、
3:17:20	そして担保してますよっていう話をしなきゃいけないんじゃないかなと思ってるのでそこをちょっと、
3:17:25	少し整理をして、ちゃんと規制としてね、どこで見るのかっていうところをちゃんと整理してもらって議論をしていった方がいいんじゃないかと思ってるので、
3:17:37	そうしないと事業者側も何でもかんでも一緒くたに考えてしまうと、何のためにこれ、いや、対策をするのかってのがわからなくなってしまうし、別の換気性の観点から必要であればその対策は別途しなきゃいけない話に逆になってくるので、
3:17:54	そういったところをちょっとしっかりと考えてもらいたいっていう、ちょっと一つ。
3:17:59	釘刺しではないですかすみません深山さんの混乱させてしまいましたすいません。
3:18:04	それとちょっと細かい話なんですけれども、
3:18:08	どっからいこっXがあるんだけど、
3:18:14	これ最後にしよう。
3:18:22	いえ、すぐ簡単なやつから言うと25ページさっき、この式大丈夫なのっていう話があったんだけど、
3:18:30	すみません水中にあるんでこれ、浮力はほぼ無視できるぐらいかもしれないけど一応本来は入るんですよ。
3:18:39	ですよ。普通考えたら古くはいると思うんで、もしも抜けてるんであればそれを考慮し、影響がないっていうのは、最終的には数値として影響ないんですよって話で収めていただければと思います。一応考慮してもらった方がいいと。
3:18:53	係留さ、すみません係留するための同巻ロープの話についてはもういっぱい出たと思います。
3:19:01	こんな事例があるのかってなかなかないちゅう話もあって、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:19:05	そもそもねさっきもちょっと話題出たんですけど伸びて動力で2%なんて話があったんですけど前兆と絶句考えて例えば1周240メートル。
3:19:15	2%だって4.8メートル伸びるんですよ。
3:19:19	さっき言ってた過分じゃないんですか。100メートルの校長ね。そんな戦わないでテンションかけてそんなテンションかけてきつと船がどっかへこむんですよきつと。だから釣るんです。つたって、多分ですよ。
3:19:32	それで何か津波が来て引っ張られたら、
3:19:35	5メートルも伸びるところじゃなくてもうちちょっと延びるかもしれないって話になるとさっき言ったように前川根井、何か出っ張りできてからいいですよとこの部分多分4メートルちょっとダメも優に超えてしまうかもしれない。
3:19:48	いや、現実考えたらどうなんですかって本当にロープってね。
3:19:52	タマウチ伸びるし、
3:19:56	あとは、初の荷重考えたらすごい結構な伸び白になるかもしれない、2%どころじゃないかしんないですよ。
3:20:05	さっき損傷防止するために何か、
3:20:09	入れ物に入れましたアカサカナカタニ入れるみたいな話も行っているとその重量だって、
3:20:15	あれだし上からいっばいすればいいじゃないかって言ったら、今度上からつたものが津波が来たときに、今度引っ張られることになるんで、仙台に損傷が及ぶかもしれませんよなんて話も出てくるかもしれないし、
3:20:30	そういった意味ではちょっとロープでやるっていうのは一つの方策としてあるんだとは思いますが、
3:20:40	そもそも論としてこれが次アイデアはね別に悪いとは言いません。ただ実際にこれを実現しようと思ったときに本当に実現できるかっていうのは、
3:20:50	よく検討してもらった方がいいと思います。
3:20:53	はい。
3:20:54	普通に考えたと思うんですけどね。はい。
3:20:58	それと先ほど来もいっばい出てるかと思えます経路してるときに津波が来たらどういう挙動になるんですか、乗り上げたりしないんですかとかいう話でさっき17の話があった。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:21:10	ちょっとコメントしますが、船なんで、重心位置が若干上の方 にあって多分浮力重心、浮力作用点が下にあるって、傾くと復元力 が発生するような形にはなってるっていうふうに思う。
3:21:24	考えるんですけどね。そういった時に例えばさっきちょっとロー プの長さをちょっと延ばしましょう取り上げました。船が片っぽ 乗り上げた状態で、
3:21:35	ロープを引っ張るような形でちょっと津波が押し寄せてきてちょ っと選定が引っかかってます。水位が上がりました。復元力と、
3:21:45	テンションしているロープの引張力で、
3:21:48	すごい回転力がかかって、A I I 船がね、さっき添付の評価する って言ったけども、そういったところにも影響ないですか。
3:21:56	仮に転倒し、転覆しない、転倒しないとしても、
3:22:00	ナカノを作業員がその改善力に持つんですかね。
3:22:05	いろんなことを考えなきゃいけないかもしれないです。人民の方 の方が、
3:22:09	もしかしたら結構やばいかもしれないですよ。
3:22:12	というような話があるかもしれないんでそういったところでもいろ んなところを想像してもらった方がいいと思うんですよ。さっき も言いましたいろんな損傷ケースを考えてくださいとかいうのも あるんだけど、
3:22:22	実際に津波が来たらどういうことか考えればこうこういう考慮し なきゃいけないねっていうのをそれぞれ多分少し類型化して、そ れに対してどうどう対応しようかっていうのをちゃんとやっても らうと僕らが五月雨式に説明されても、
3:22:35	結果あっちどうなんだこっちどうなんだって虫食い状態で僕らの 質問をする状態になっちゃうんで、ちょっとそこら辺少し、
3:22:41	考えていただければと思います。
3:22:44	私から以上です。
3:22:47	北海道電力金田です。いろいろとアドバイスでコメントありがと うございます。今言われたことを少し考えて整理して、審査資料 に反映していきたいと思います。以上です。
3:23:01	はい。規制庁側から、会議室、WEBの方で、
3:23:06	確認よろしいですか。
3:23:11	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:23:12	じゃあ、今日の事実確認事項を整理したいと思いますので、一旦文字起こしを停止します。
3:23:21	はい。規制庁藤原ですがまとまりましたように読み上げます。流況は刻々と変化する環境において、流圧力の歳出に
3:23:31	OCIMFの算出方法が適用可能が発生することまた、防潮での評価に扱うやはり小文字な理由を説明すること、津波による負の挙動を示しつつ、
3:23:43	各構成部材の損傷モードを踏まえて、構成部材の評価方法を説明すること。
3:23:48	その次、
3:23:49	燃料移送性の設置場所における流向流速、流派波高を採用した精緻な評価を実施する場合、基準津波への選定への影響を踏まえて、
3:23:59	設計方針について私説明すること。
3:24:02	その次、燃料移送線の設置場所における流向流速のみだかについて、地形や港湾の影響を踏まえて整理し説明すること。
3:24:13	その次が、
3:24:14	評価に用いる波源の選定の考え方、水位流渠流速は形について整理し説明すること、また燃料移送性の評価に対して、評価上厳しくなるような波源の考え方について整理し説明すること。
3:24:27	その次が、つなぎを受けた船のけど、押し波時の宮城岸壁の押付力を踏まえた検討服を示すこと。
3:24:37	その次、案内の流向流速について渦を巻くような流れが見えないことも踏まえ、また改めて説明すること。
3:24:45	その次が、岸壁近傍の輸送線係留位置最大流速は、平行垂直ではなく、ロープの荷重がカタギリになる可能性も含めて全方向の最大流速とすべきか検討の上、説明すること。
3:25:11	はい、じゃあ、次に行きまして、泊の早く到達する津波、海域活断層FS10断層について、検討対象をしての必要性も検討の上、改めて説明すること。
3:25:26	溪流③以外の列となった項目について、複数の溪流の組み合わせの有効性についてを継続検討し説明すること。
3:25:37	新川童夢季節グループの給水について一般産業用適用実績があるのか、泊オリジナルなのか整理するとともに有効性について説明すること。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:25:47	その次が、どの機能分脱落防止対策についてかかる荷重の分散状況ロープのたるみや伸び等を踏まえた設計方針を説明すること。
3:25:57	その次が、底面摩擦係数や自動ダテの考え方について説明すること。
3:26:02	その次が、今回の実績への漂流分防止装置に関する妥当性について、検証方法を改め含めて説明すること。
3:26:12	その次は、
3:26:13	地震に伴う護岸の動き、移送性を損傷させる可能性を踏まえ、荷揚げ場の
3:26:19	耐震化について検討し、説明すること、また、周辺の防波堤等の
3:26:25	分類創生の波及影響について説明することでその次が、
3:26:31	トラロープに対する木材等の漂流物の悪影響を防止観察すること。
3:26:36	その次の設計上の課題解決に向けた実験解析等の道筋について、方針として、資料に記載すること。
3:26:51	その次は、係留位置付近の海底地形図、そのソウノ分布等がわかる済みを資料を示すとともに新川付近の、
3:26:59	砂地盤の地震による液状化影響進化について、適切なロープの余長移動抵抗の影響等について説明すること。
3:27:07	その次が、
3:27:09	液状化による海水の比重が変わる影響についてを説明すること。
3:27:13	その次が、新カノウ評価として新川の損傷のみならず、新川の移動と評価すべき内容について整理し説明すること。
3:27:30	はい。その次が、センターの方の検討評価においてはセンナの次の状況を踏まえたものとする。
3:27:36	その次は入構から経理までにドウツウ警報が出るようなケースのシナリオについて、ステップを踏まえて説明すること。
3:27:43	その次が津波時における岸壁に接岸している。
3:27:47	通常の係留索の影響について整理し説明すること。
3:27:56	最後ですかね、リース燃料荷卸し用のクレーンの地震時、津波時の扱い図で整理説明すること。
3:28:05	以上、規制庁側から追加或いは北電からの改めての確認ございますか。
3:28:12	よろしいですか。
3:28:15	はい。北海道電力の方、コメントありません。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:28:17	はい、じゃあ、今日のヒアリングは以上とS I M M E Rす
---------	---------------------------------

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。